

TPM-7 取扱説明書

V 1.00

目次

目次	2
安全にお使いいただくために必ずお読みください。	3
1. 梱包品の確認	4
2. 各部名称	5
3. 初期設定と ID の確認	7
3-1 接続と起動	7
3-2 機能説明	7
3-3 設定画面の起動	8
3-4 各項目の設定	8
3-5 本体 ID	9
4. ユーザー登録	10
4-1 ユーザー登録	10
5. アップデート	12
5-1 アップデート	12
6. 車両登録	13
6-1 新規登録	13
6-2 登録済車両選択	14
6-3 登録済車両削除	15
7. 診断	17
7-1 故障コードの読取	17
7-2 故障コードの消去	19
7-3 データモニタ	20
7-4 データ保存	22
7-5 結果を印刷する	23
7-6 DTC ヘルプ機能	24
7-7 カスタマイズ	24
7-8 作業サポート	26
7-9 アクティブテスト	27
8. 特殊機能	29
8-1 特殊機能の各アイコン	29
8-2 DPF 再生機能	29
8-3 エーミング	30
8-4 簡易バッテリーテスト	32
8-5 VNC	33
9. 履歴	35
9-1 保存データの表示 (再生)	35
9-2 保存データの消去	37
10. その他のアップデート方法	38
10-1 イーサネットによるアップデート	38
10-2 USB メモリによるアップデート	39
11. 保存データを PC で確認する	43
11-1 ファイルを表示する	43
12. トラブルシューティング	44
12-1 書込みができない (症例 1)	44
12-2 書込みができない (症例 2)	46
12-3 サーバーからの返答がない	48
12-4 「フォーマットする必要があります」とメッセージが表示される	48
12-5 「スキャンして修復しますか？」とメッセージが表示される	48
13. 保証について	49

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



重要

- 本製品をより効率的にお使いいただくために、取扱説明書の内容についてよくご理解してください。
 - この取扱説明書は、本製品の基本操作を説明するもので故障を修理する方法を記載したものではありません。本製品は診断テストや車両故障のおおよその箇所の発見に使用するもので、車両の診断を行う際に使用者は、サービス（保守整備）マニュアルと最新の保守整備用公示資料も参照していただくようお願いいたします。
 - 修理に関しては、製造元車両サービスマニュアルまたは他の故障修理の出版物でお確かめ下さい。
- ※本書では、サービス（保守整備）マニュアルと保守整備用資料や故障修理に関する情報を総じて、整備書として表記いたします。



注意

- 本製品を十分に活用していただくためには、車両コンピュータコントロールシステムを熟知されている必要があります。
- 本製品を使用する際に整備書を参照せず、無理な使い方や車両を破損させた場合、本製品の正しい使用方法以外で発生した損害については、一切の責任を負いかねます。
- 人的な傷害を未然に防ぐために、必ずパーキング・ブレーキを確実にかけ、車輪止めを行い車両の点検・修理を行ってください。
- 車庫などの周囲が囲まれている空間でエンジンを作動させたまま点検を行う際には、必ず十分な換気を行ってください。排気ガス中には意識不明状態や死亡に至る恐れのある無色無臭で非常に危険な一酸化炭素が含まれておりますので、排気ガスは絶対に吸い込まないようにしてください。
- 診断ケーブルを車両に接続するときは、車両のイグニッションスイッチが OFF の位置にあることを必ず確認してください。イグニッションスイッチが ON の位置で接続すると、本体やプログラムを破壊する場合があります。
- 車両の診断コネクタにケーブルがしっかりと接続されていることを確かめてから、本製品をお使いください。
- 運転者は、運転中に本製品を操作しないでください。
- 電源電圧は DC8V 以上 32V 以下でお使いください。



禁止事項

- 濡れた手で、本製品にふれないでください。
- 本体およびケーブル等を水に濡らしたり、衝撃等を与えたりしないでください。
- 本体およびケーブル、アダプタ等の金属端子部に直接手を触れないでください。汚れによる接触不良や静電気による破壊等が発生する場合があります。
- 車種によってサービスデータが有効ではない場合は車両システムの変更による可能性があります。
- 本製品を分解、改造しないでください。
- 本体のコネクタ部に異物を入れないでください。
- 本製品を直射日光が当たる場所や高温になる場所または、炎天下の車室内に放置しないでください。
- 本製品に別の製品のケーブルを使用しないでください。

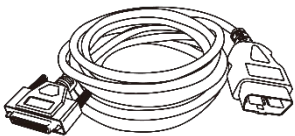
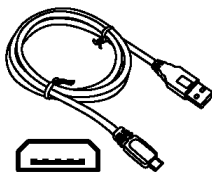
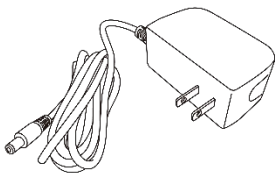
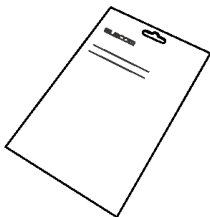
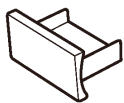
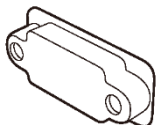
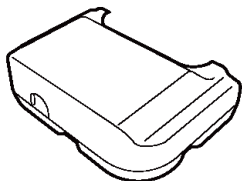
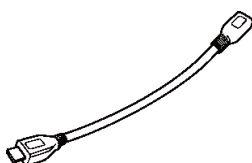
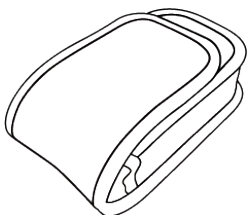
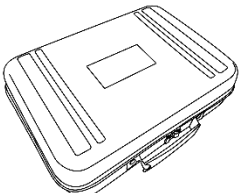


アドバイス

- 本製品を使用し何度診断を試みても診断ができない場合は、診断コネクタの接触不良および断線等が考えられますのでご確認ください。また、サポートされていない車両の可能性もあります。
- 車両側の故障診断機能の対応によってはデータ表示の内容が正しくない場合があります。

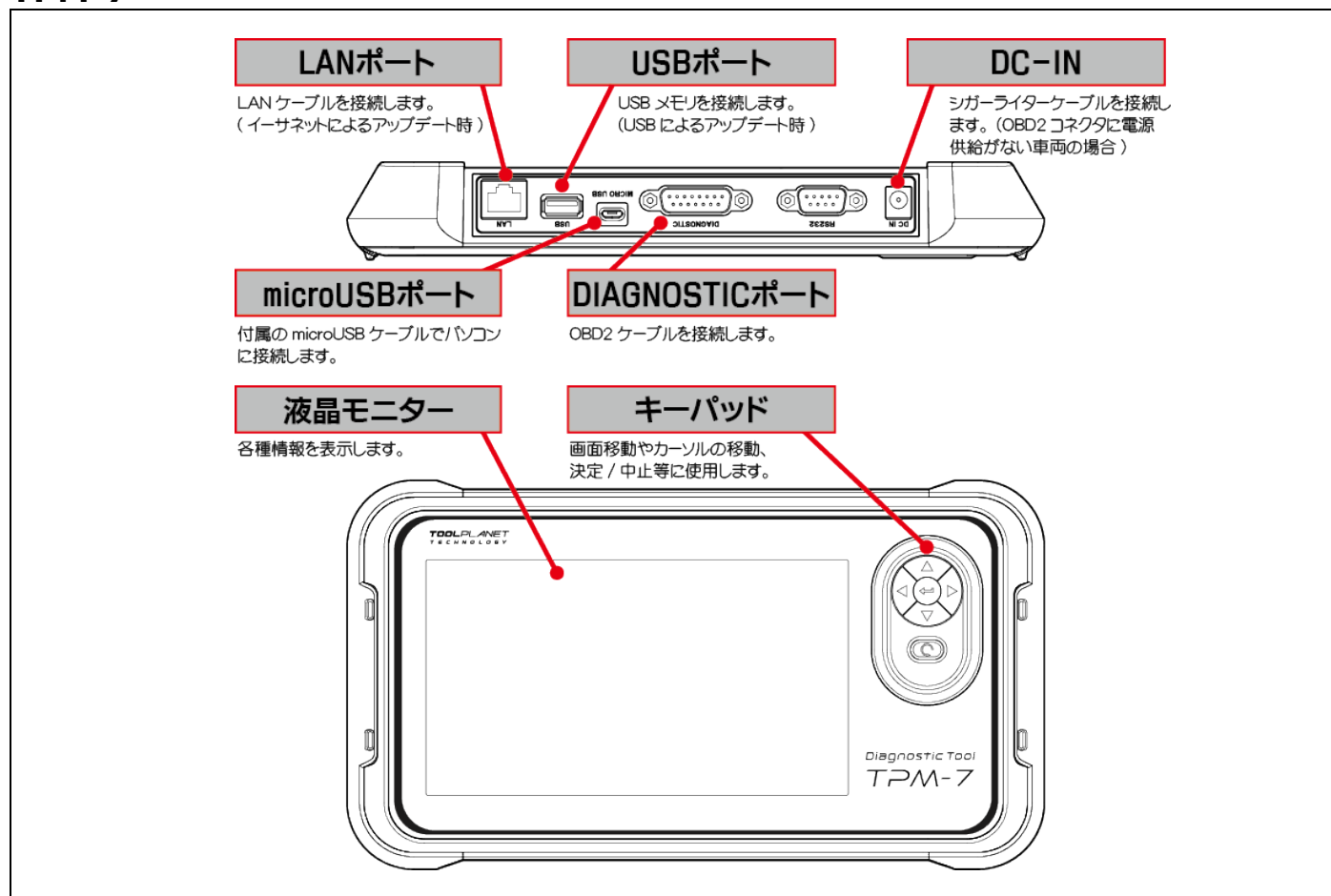
1. 梱包品の確認

- ご使用前にすべての製品が揃っていることを確認してください。
- 万一、不足の品がありましたらお手数ですがご購入後 1 カ月以内にお買い上げの販売店までご連絡ください。
- リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

			 ※NANO-LC と共用
TPM-7 本体	OBD2 ケーブル	シガーケーブル	Micro USB ケーブル (3m)
			
AC アダプタ	保護フィルム	DC IN ポート 保護キャップ	USB ポート保護キャップ
			
RS232 ポート 保護キャップ	RS232 ポート保護 キャップ用 樹脂製ネジ	Micro USB ポート 保護キャップ	
			
NANO-LC 本体	NANO-LC USB ケーブル固定カバー	NANO-LC 延長 USB ケーブル	NANO-LC 用 ソフトケース
	●TPM-7 クイックスタートガイド ●NANO-LC クイックスタートガイド	●NANO-LC 用 USB ケーブル 固定カバーセット取付手順書	
キャリングケース	クイックスタートガイド	その他 書類	

2. 各部名称

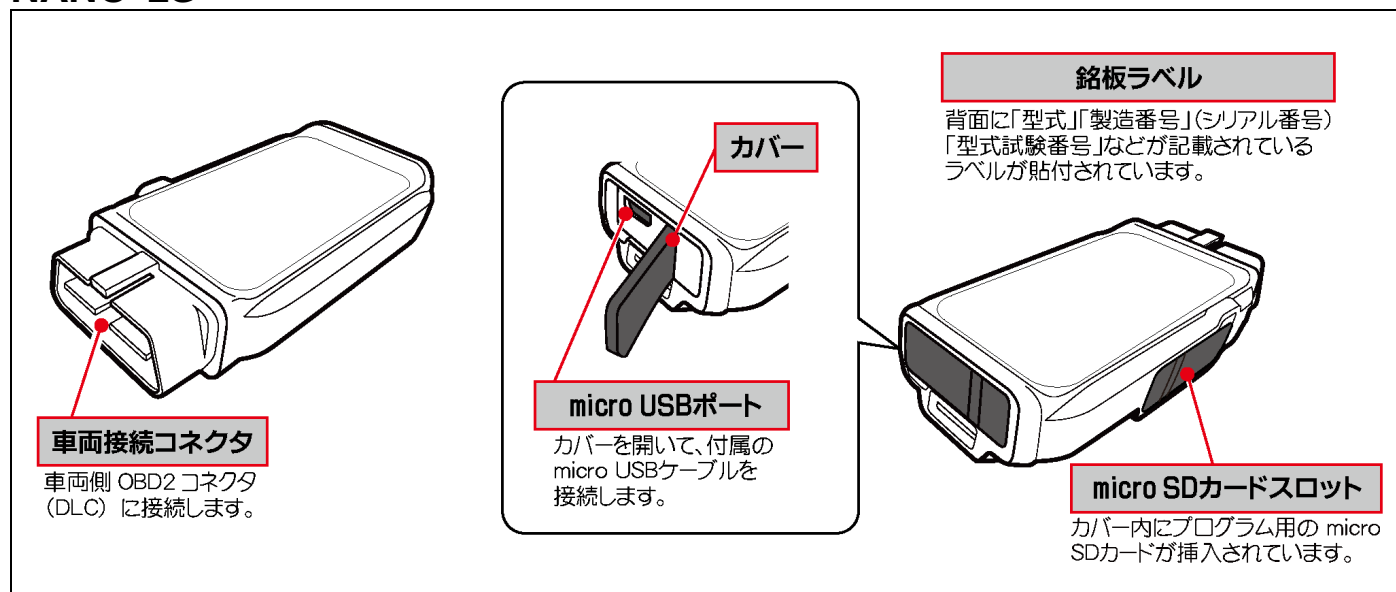
TPM-7



本体仕様

本体寸法 (W) x (H) x (D):	254 mm x 140 mm x 35 mm
本体重量:	709 g
電源電圧:	8-32 VDC
使用温度範囲:	0~+50 °C
保存温度範囲:	-20~+70 °C
保存湿度範囲:	20~85 %RH (但し結露のないこと)
標準 I/F:	High Speed CAN, Low Speed CAN, Single Wired CAN, ISO-9141, ISO-9141-2, KWP2000, SAE-J1708, J1850 (PWM/VPW), Generic (pull-up, UART×2), DDL, MMC
PC 用 I/F:	USB micro-B, Type-A, Ethernet (RJ45), D-Sub15 ピン, DC-IN
プリンタ I/F:	Bluetooth BR/EDR BLE4.1
CPU:	ARM Cortex M7 480 MHz
ROM (OS) :	2 MB
ROM (AP) :	8 GB (Internal Flash eMMC)
RAM:	1 MB
バッテリー:	リチウム 3.0 V 50 mAh (時計用)
LCD モニタ:	7.0 インチ (800 RGB x 480 pixels) TFT カラー液晶
OS:	FreeRTOS
操作キー:	ENTER, EXIT, ↑, ↓, ←, →
型式 / 型式試験番号	TPM-7 / JASEA-KS-53
ファームウェアバージョン	1.89
ドライババージョン	1.09

NANO-LC



本体仕様

型式 / 型式試験番号	NANO-LC / JASEA-KS-13
本体寸法 (W) x (H) x (D):	54 mm x 105 mm x 26 mm
重量	96 g
ファームウェアバージョン	1.83
ドライババージョン	1.07

	・ OBD 検査使用時は『特定 DTC 照会アプリ』がインストールされたインターネット接続可能な Windows11 PC (またはタブレット) が別途必要です。
--	---

3. 初期設定と ID の確認

「設定」メニューから言語、コントラスト、キーパッドのバックライト、時計の設定が可能です。
また、「本体 ID」メニューからシリアル番号、ダウンロード期間、保証期間の確認が行えます。

3-1 接続と起動

- (1) TPM-7 本体上部 DIAGNOSTIC ポートに OBD II ケーブルのコネクタを差し込みます。
- (2) 車両が**イグニッション OFF**であることを確認して TPM-7 を車両側 OBD II コネクタに接続してからイグニッションを ON にします。



- (3) 起動してメインメニューが表示されます。



3-2 機能説明

- (1) メニューを選択します。
各機能説明を参考にメニューを決定してください。



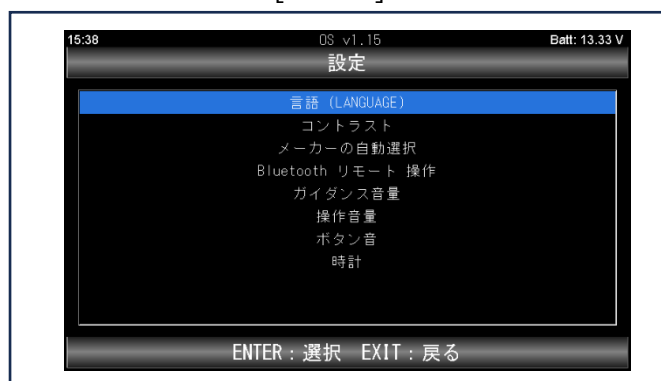
診断 車両の故障診断などを行います。 「 7. 診断 」を参照してください。	 診断
特殊機能 メンテナンスモード、エーミング、DPF 再生、簡易バッテリーテストを行います。 「 8. 特殊機能 」を参照してください。	 特殊機能
履歴 保存したデータの再生・削除を行います。 「 9. 履歴 」を参照してください。	 履歴
設定 言語切替えなどの本体設定を変更できます。 「 3. 初期設定と ID の確認 」を参照してください。	 設定
本体 ID 本体 ID (シリアル番号)、ダウンロード期間および保証期間を確認できます。 「 3. 初期設定と ID の確認 」を参照してください。	 本体 ID
ソフトウェア更新 ソフトウェアのアップデートを行います。 (イーサネット、USB 接続でのアップデート時)	 ソフトウェア更新

3-3 設定画面の起動

- (1) 「設定」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



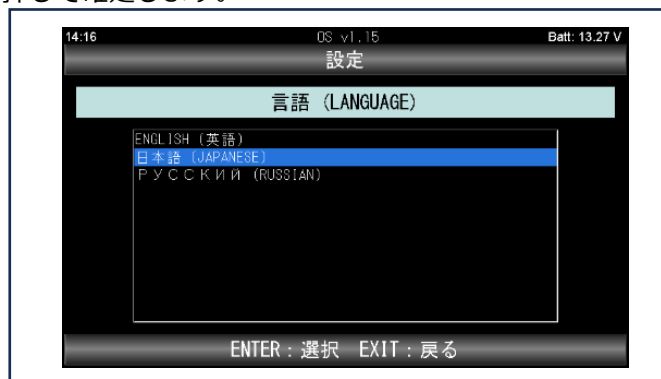
- (2) 設定画面が表示されます。上下矢印ボタンで設定する項目を選択して[ENTER]ボタンを押します。



3-4 各項目の設定

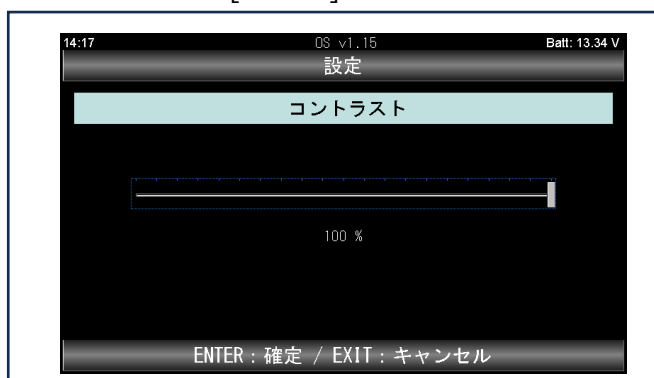
3-4-1 言語

上下矢印ボタンで言語を選択して[ENTER]ボタンを押して確定します。



3-4-2 コントラスト

上下矢印ボタンで 10%、左右矢印ボタンで 1%ずつ調整できます。調整後、[ENTER]ボタンを押して確定します。



3-4-3 Bluetooth リモート操作

外部機器 (例: ミニプリンター) との Bluetooth 接続機能を切り替えることができます。

左右ボタンで ON (入)/OFF (切) を選択して[ENTER]ボタンを押して確定します。

※確定後アプリケーションが再起動します。



3-4-4 操作音量

上下矢印ボタンで 10%、左右矢印ボタンで 1%ずつ調整できます。調整後、[ENTER]ボタンを押して確定します。



3-4-5 ボタン音

確認音の音色を選択することができます。
上下矢印ボタンで選択して[ENTER]ボタンを押して
確定します。



3-4-6 時計

内蔵時計の時刻を設定します。
上下矢印ボタンで変更、左右矢印ボタンでカーソルが
移動します。設定後[ENTER]ボタンを押して確定します。

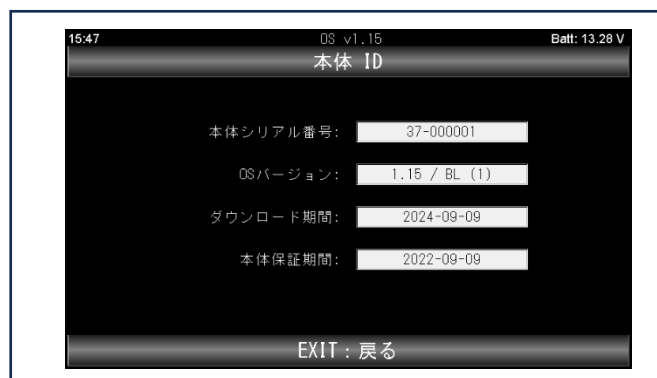


3-5 本体 ID

(1) 「本体 ID」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(2) 本体情報が表示されます。
※自動車特定整備事業 申請時の整備用スキャンツ
ールバージョンは、OS バージョン欄に表示された
値を使用してください。



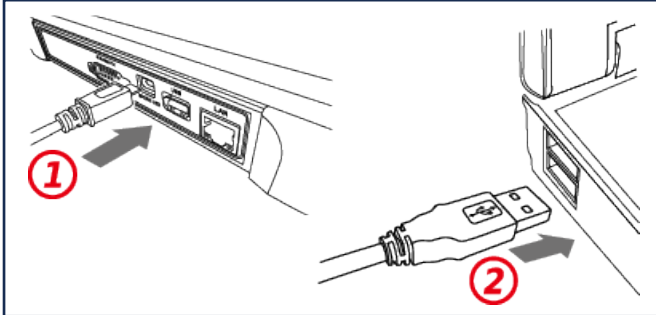
4. ユーザー登録

ソフトのインストールを行う為に、ユーザー登録を行います。手順に従ってユーザー登録を行ってください。

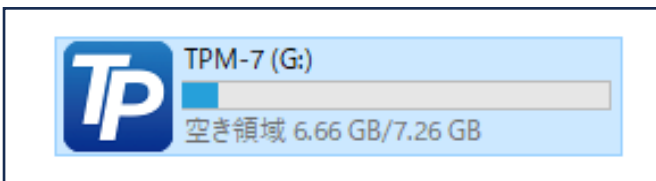
・手順動画はこちら → https://www.youtube.com/watch?v=Z5asZ_zHk1k

4-1 ユーザー登録

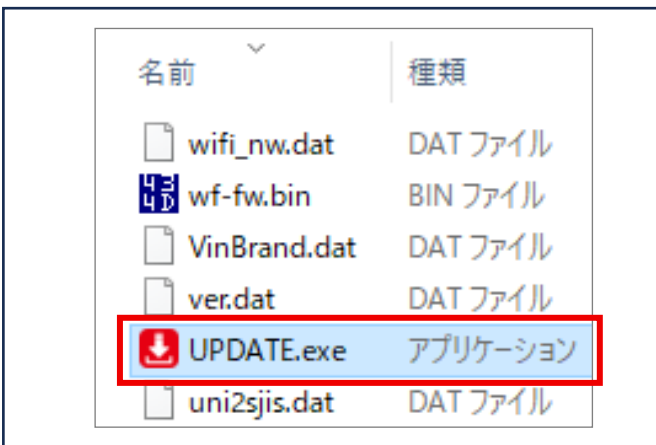
- (1) TPM-7 とパソコンを付属の micro USB ケーブルで接続します。



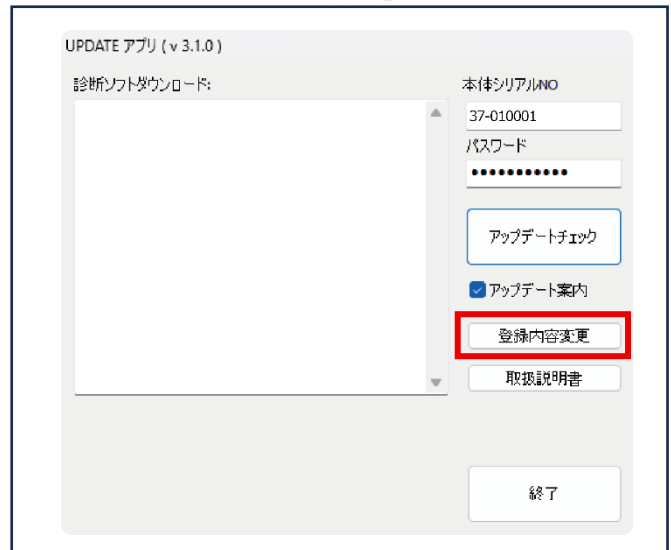
- (2) エクスプローラーを起動し「デバイスとドライブ」に表示される「TPM-7」をダブルクリックします。
※エクスプローラーが自動で起動する場合は (3) へ進んでください。



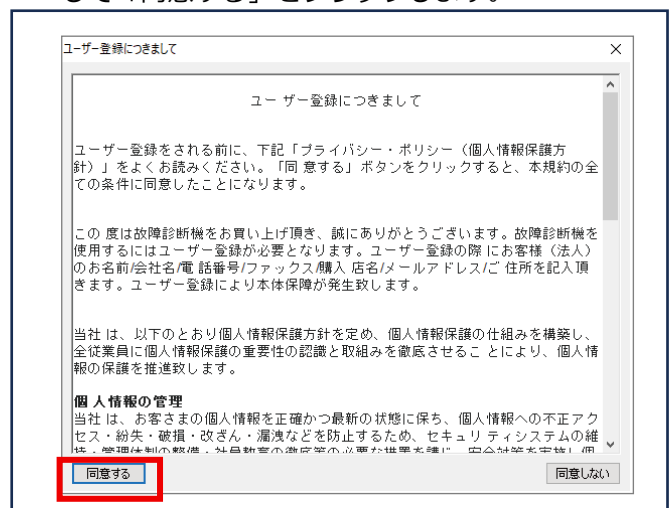
- (3) TPM-7 ドライブ内の「UPDATE」(アプリケーション) をダブルクリックします。



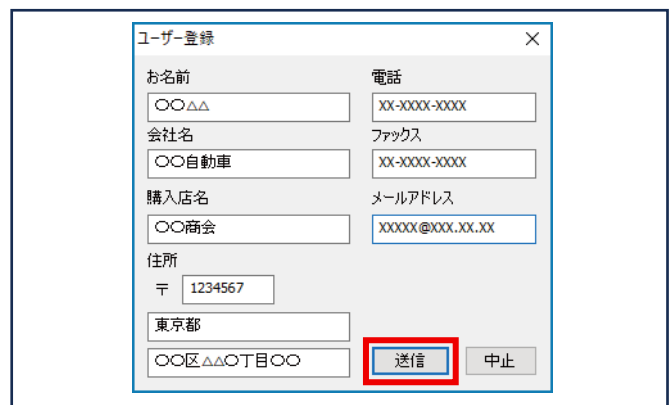
- (4) Update アプリが起動します
アプリ内の「登録内容変更」をクリックします。



- (5) プライバシーポリシーを読んで内容をよく理解して「同意する」をクリックします。



- (6) 「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力して[送信]をクリックしてください。



- 入力欄は全て入力してください。
未入力欄があると送信できません。
- ユーザー登録画面が表示されない場合は、
「アップデートチェック」ボタンをクリックしてから、再度[登録内容変更]ボタンをクリックしてください。

- (7) 送信完了後、ご登録メールアドレスをご確認ください。
「admin@scantool.co.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて本文にあるリンクをクリックします。
リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで「認証完了」ページが表示されます。

登録認証確認

下記リンクをクリックすると認証が完了します。

<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=33>

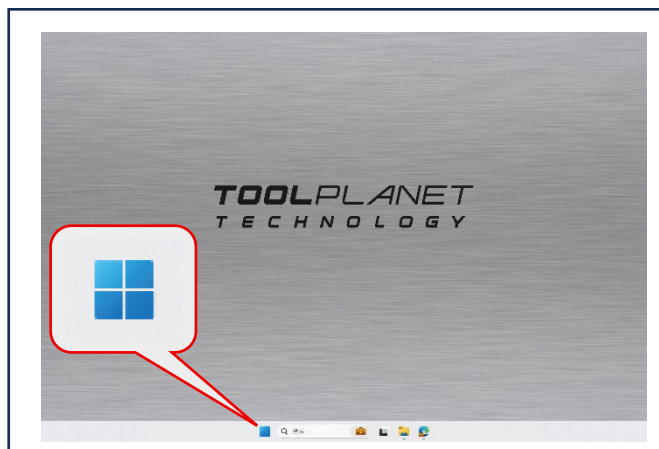
リンクをクリックすると、ご使用のブラウザで「認証完了」ページが表示されます。

- メールが届かない場合は「迷惑メール」に分類されていないか確認してください。
- ダウンロード期間および本体保証期間は登録完了日から 1 年間です。
- 故障診断技術サポートはお申込みから 1 年間です。

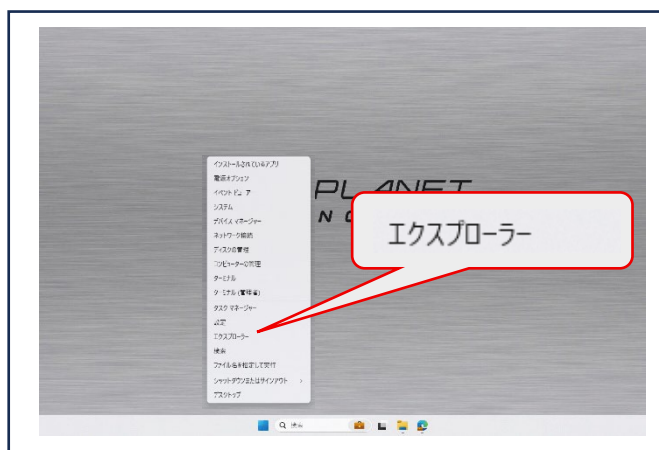
TPM-7 ドライブの開き方

- 手順動画はこちら → https://youtu.be/c_gTbPRCIHc?si=hfK RjGjyexZOREVvK

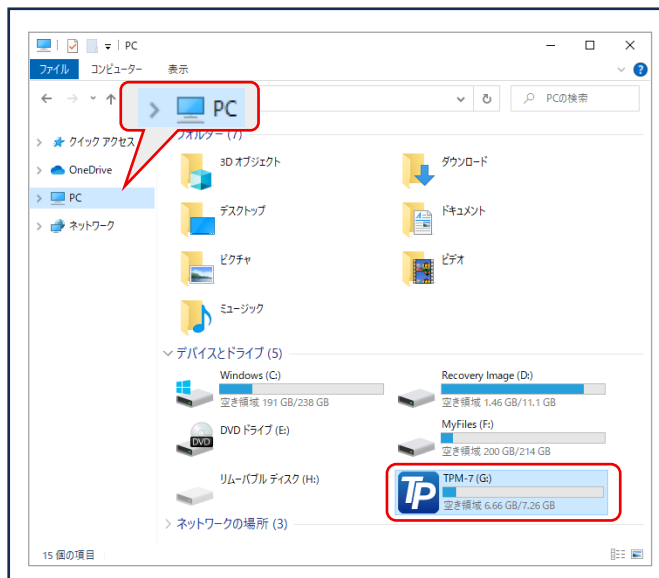
- (1) 画面左下の Windows マークを右クリックします。



- (2) ポップアップメニュー内の「エクスプローラー」をクリックします。



- (3) エクスプローラー画面が表示されたら、左側メニューより「PC」をクリックし、デバイスとドライブから「TPM-7」をダブルクリックします。



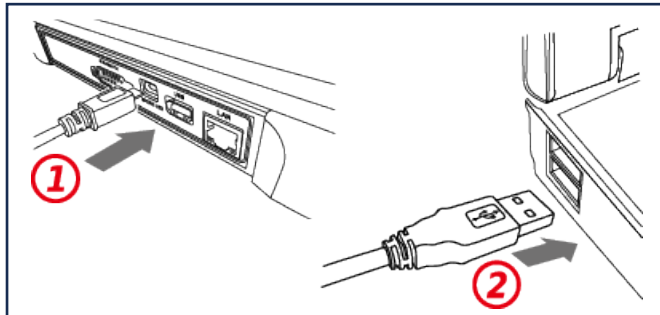
5. アップデート

ユーザー登録完了後、アップデートし最新ソフトをインストールします。

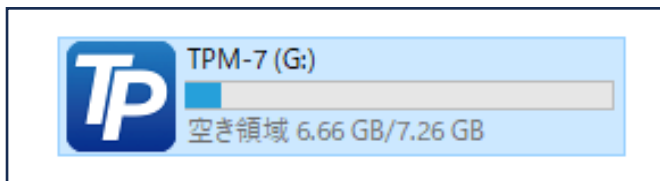
・手順動画はこちら → https://youtu.be/JUjDyKryQp0?si=T8o14Gvg_vaj9iTG

5-1 アップデート

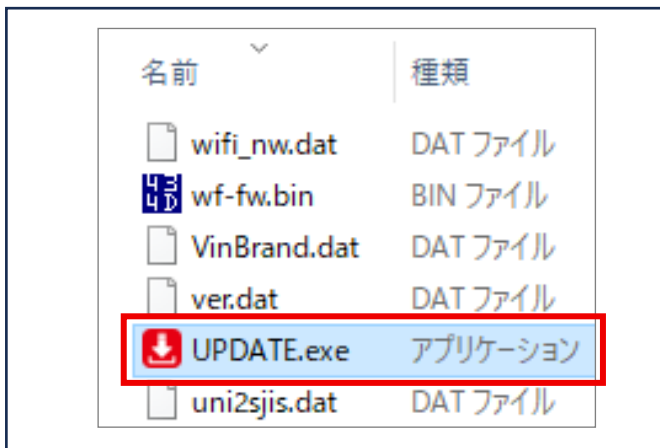
- (1) TPM-7 とパソコンを付属の micro USB ケーブルで接続します。



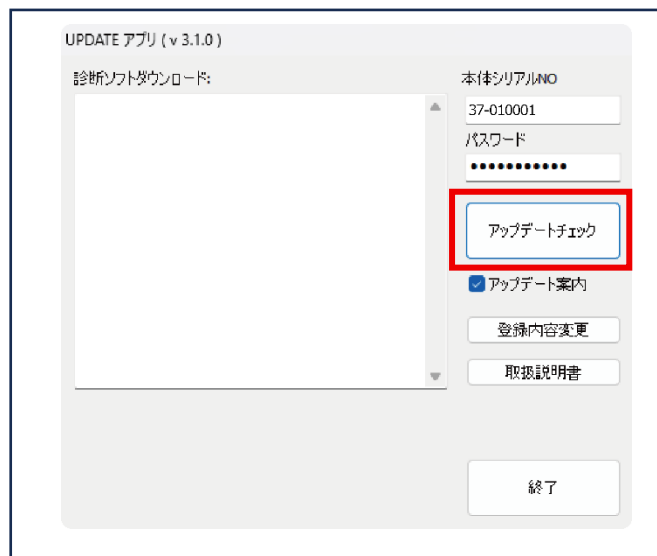
- (2) エクスプローラーを起動し「デバイスとドライブ」に表示される「TPM-7」をダブルクリックします。
※エクスプローラーが自動で起動する場合は (3) へ進んでください。



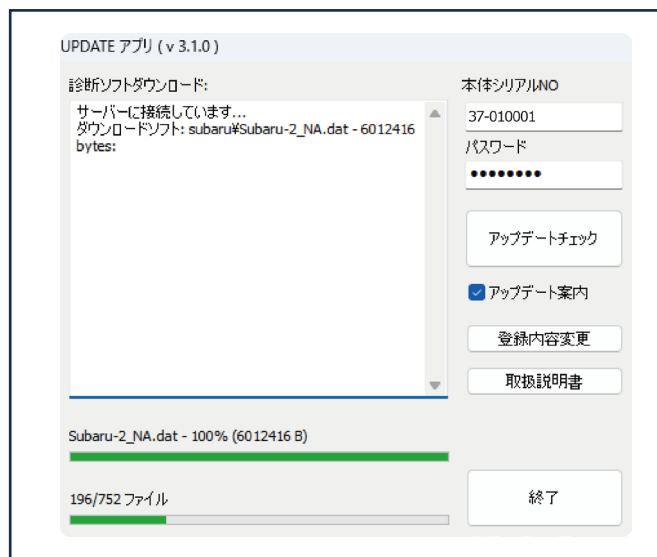
- (3) TPM-7 ドライブ内の「UPDATE」(アプリケーション) をダブルクリックします。



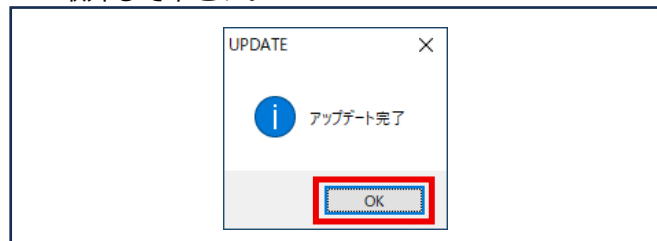
- (4) 「アップデートチェック」をクリックします。



- (5) アップデートが始まり、ソフトが本体に書込まれます。



- (6) 「アップデート完了」が表示されましたら書き込み完了です。「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、アプリケーションを終了します。
終了後、安全な取外しを行いパソコンから TPM-7 を取外して下さい。



その他のアップデート方法は「[こちらから](#)」ご確認ください。

6. 車両登録

お客様の車両ナンバーを登録することができます。登録することにより、2回目以降の診断時にメーカー選択を省略することができます。

6-1 新規登録

- (1) 「車両登録」を選択して [ENTER]ボタンを押します。



- (2) 「新規登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) ナンバープレートの地名を選択します。



- (4) 3桁の車種コードを入力します。



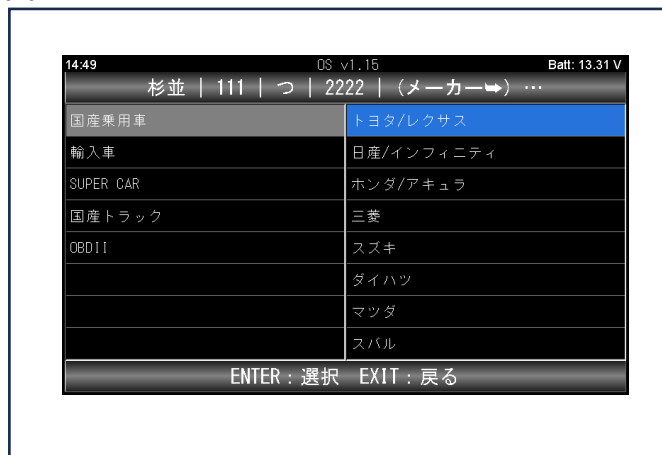
- (5) 分類番号、車両の用途を示すひらがなを選択します。



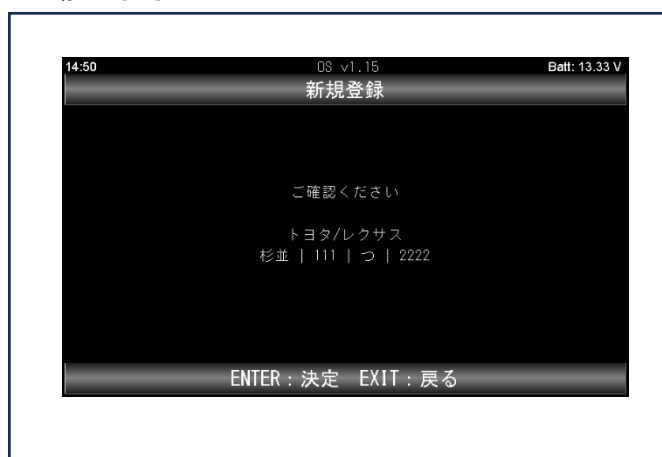
- (6) 4桁の一連指定番号を入力します。



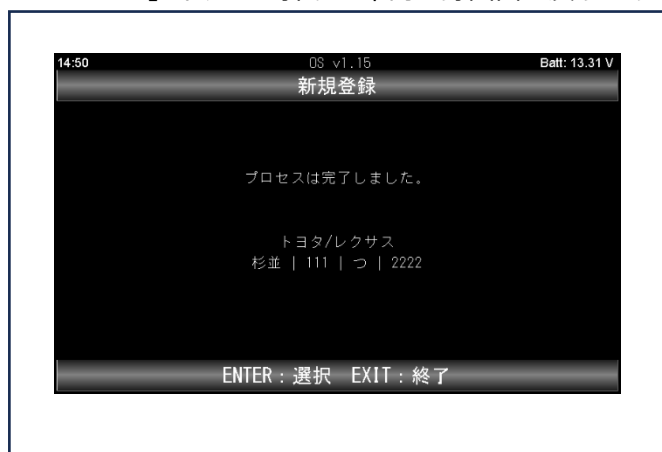
(7) メーカーを選択します。



(8) 登録内容を確認して、間違いがなければ「ENTER」ボタンを押して決定します。
変更がある場合は、「EXIT」ボタンを押して戻り修正してください。



(9) 登録が完了しました。
「ENTER」ボタンを押すと「診断」からメーカー選択が完了した後の画面に移り、そのまま診断を開始することができます。
「EXIT」ボタンを押すと車両登録画面に戻ります。



6-2 登録済車両選択

(1) 「車両登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(2) 「登録済車両選択」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(3) メーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



(4) 診断するナンバーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (5) 選択したナンバーに間違いがなければ [ENTER] ボタンを押します。



- (6) イニシャライズが完了すると、選択したナンバーのメーカーのメインメニューが表示されます。



6-3 登録済車両削除

- (1) 「車両登録」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



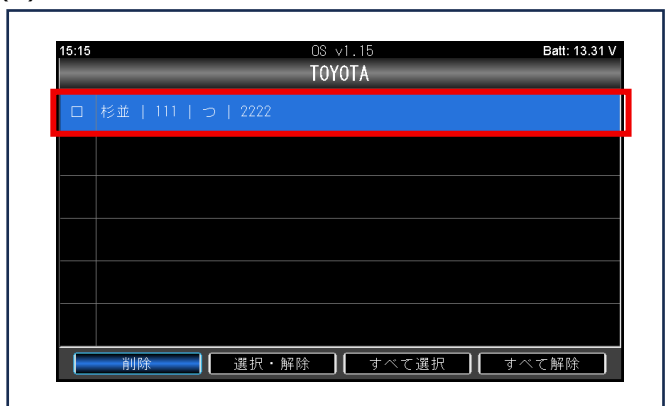
- (2) 「登録済車両削除」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) メーカーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



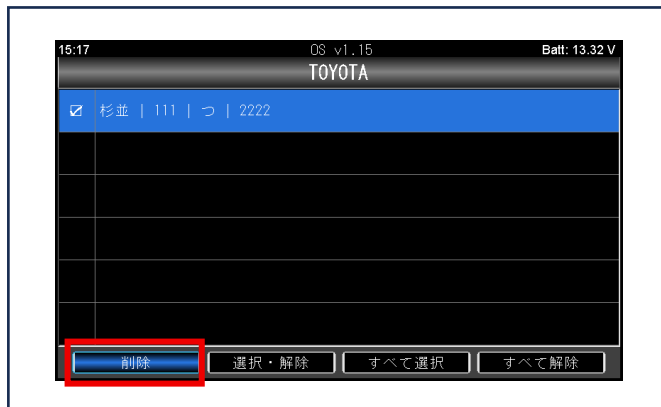
- (4) 削除するナンバーにカーソルを合わせます。



- (5) 「選択・解除」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。
削除する車両ナンバーにチェックマークがついていることを確認します。



- (6) 「削除」にカーソルを合わせて「ENTER」ボタンを押します。



- (7) 「ENTER」ボタンを押して決定します。



- (8) 削除が完了しました。



7. 診断

診断ソフトの選択から故障コードの読取り、消去など基本的な操作についてトヨタソフトを例に説明します。

7-1 故障コードの読取

7-1-1 全自己診断 (簡易・詳細)

(1) 「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



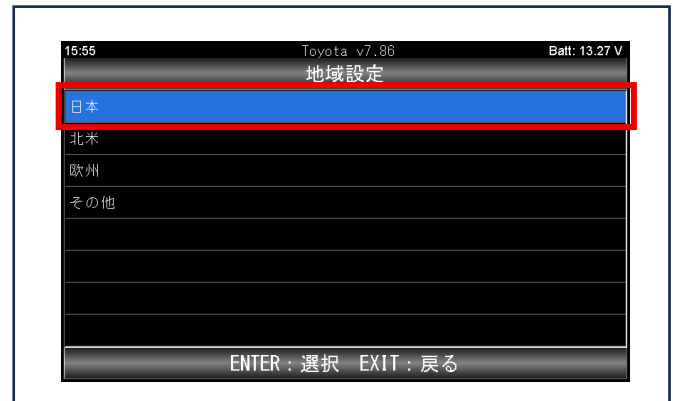
(2) メーカー選択画面から診断メーカーにカーソルを矢印ボタンで移動して[ENTER]ボタンを押します。



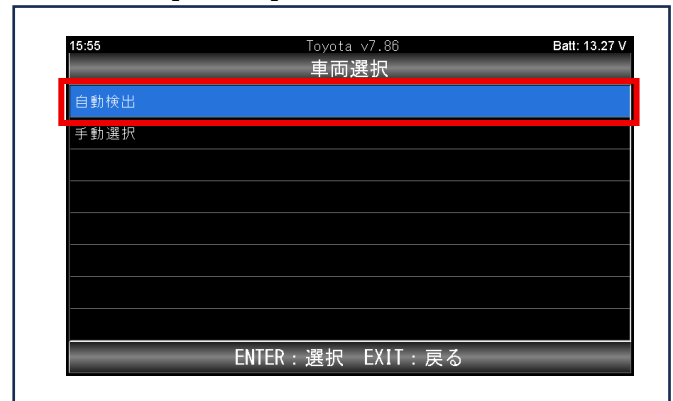
(3) 診断ソフトが起動します。



(4) 診断ソフトにより地域設定画面が表示されます。地域を選択してください。(通常「日本」)



(5) 診断ソフトにより車両検出選択画面が表示されます。通常は「自動検出」を選択してください。選択して[ENTER]ボタンを押します。



(6) 診断ソフトのメインメニュー画面が表示されます。「診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (7) 診断方法選択画面が表示されます。
目的に合った項目を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- 「システム別の診断」はエンジンなど個別でシステムを選択して診断するモードです。
- 「簡易の全自己診断 (現在故障)」は全システムの現在故障を読み取るモードです。
- 「詳細の全自己診断 (現在故障・過去故障)」は全システムの現在故障・過去故障・仮コードを読み取るモードです。

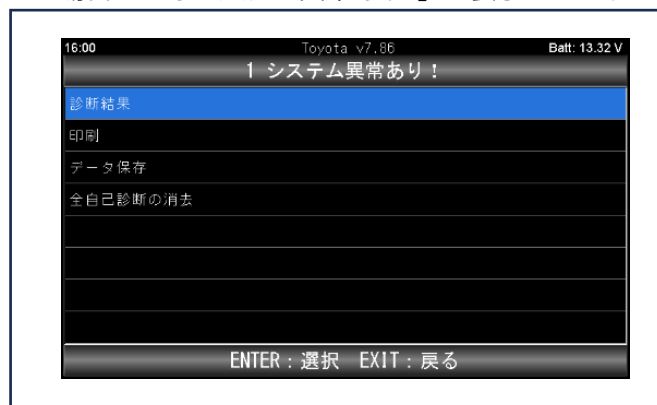
- (8) 全自己診断 (簡易・詳細) を実行すると、車両に搭載されている各システムの故障コードの読取が開始されます。



- (9) 読取が完了すると、点検結果の一覧が表示されます。
故障コード未検出のシステムは○
故障コード検出のシステムは×とエラーコードおよび詳細を表示します。



- (10) 一覧表示中に[ENTER]ボタンを押すと、診断後のメニューが表示されます。
画面上部には、異常がない場合に「異常なし」ある場合は「○システム異常あり!」と表示されます。



全自己診断結果画面から行えること

- 印刷：詳しくは [7-5 結果を印刷する](#) へ
- データ保存：詳しくは [7-4 データ保存](#) へ
- 全自己診断の消去：詳しくは [7-2 故障コードの消去](#) へ

- (11) 「診断結果」を選択して[ENTER]ボタンを押すと診断結果の一覧表示に切り替わります。
故障コード未検出のシステムは「OK」
故障コード検出のシステムは「故障コードの数+DTC」と表示します。
故障コードを確認するには該当システムを選択して[ENTER]ボタンを押します。



※システム選択後の手順は、7-1-2 システム別の診断 (3) 以降と同様です。

7-1-2 システム別の診断

- (1) 7-1-1 (1) から (7) の手順にて、メーカーソフトを起動します。
- (2) システム選択画面から「システム別の診断」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 選択したシステムの診断メニューが表示されます。「故障コードの読取」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (4) 故障番号と内容が表示されます。[ENTER]ボタンを押すと詳細表示されます。

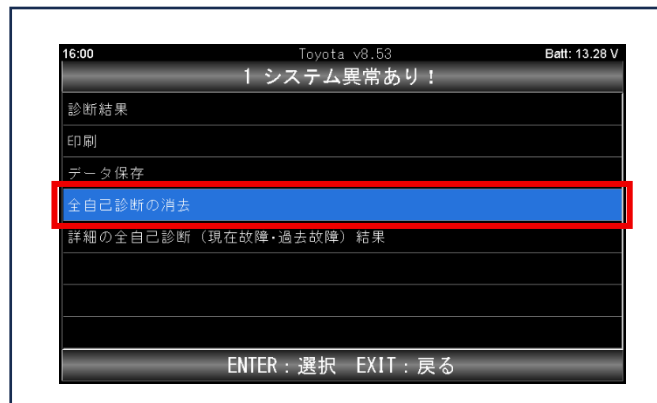


※詳細表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。詳しくは [7-4 データ保存](#) および [7-5 結果を印刷する](#) をご覧ください。

7-2 故障コードの消去

7-2-1 全自己診断からの故障コード消去

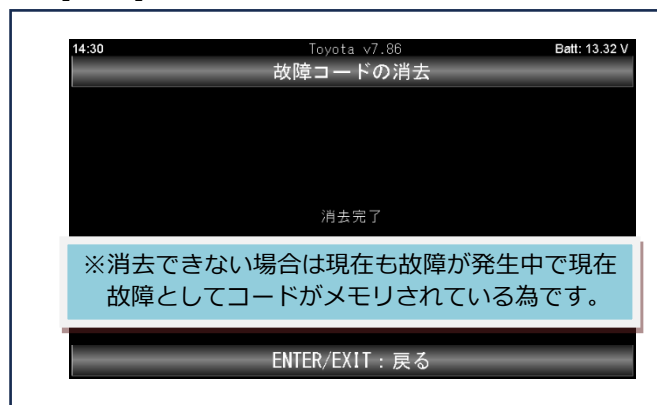
- (1) 7-1-1 (1) から (10) の手順にて、全自己診断を実行します。
- (2) 点検結果画面から「全自己診断の消去」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 全自己診断の消去画面にて[ENTER]ボタンを押します。消去は**イグニッション ON**で行います。



- (4) 消去が完了すると以下の画面が表示されます。[EXIT]ボタンを押して戻ります。



7-2-2 個別システムからの故障コード消去

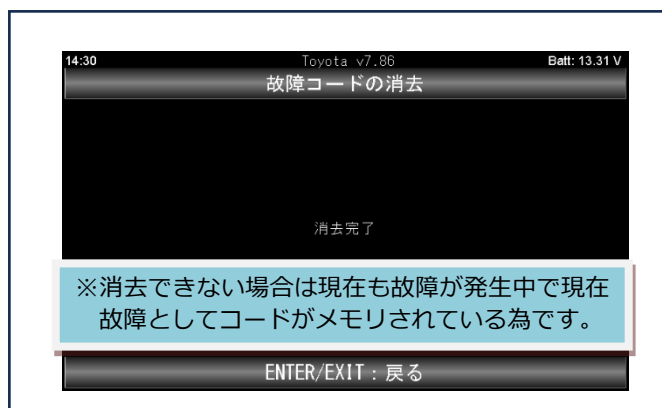
- (1) 7-1-2 (1) から (3) の手順にて、システム別の診断を実行します。
- (2) 診断メニュー画面から「故障コードの消去」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 故障コードの消去画面にて[ENTER]ボタンを押します。消去は**イグニッション ON**で行います。



- (4) 消去が完了すると以下の画面が表示されます。[EXIT]ボタンを押して戻ります。



7-3 データモニタ

7-3-1 メニュー選択

- (1) 7-1-2 (1) から (3) の手順にて、システム別の診断を実行します。
- (2) 個別システムの診断メニュー画面から「データモニタ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) データモニタ表示選択の画面が表示されます。[リスト表示] [グラフ表示] いずれかを選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (4) 表示選択項目が表示されます。[開始]を選択して[ENTER]ボタンを押すとチェックされた項目を表示します。





メニュー詳細

- [選択・解除]→1項目ずつ変更できます
- [すべて選択]→すべての項目が選択されます
- [すべて解除]→すべての項目が解除されます



項目選択・解除

- 1項目ずつ変更する場合は、
- ① 左右ボタンで[選択・解除]にカーソルを合わせる
 - ② 上下ボタンで変更したい項目に合わせて[ENTER]ボタンを押す
操作にて 選択⇔解除が切替わります。

(5) 「表示選択項目」で選択された項目が表示されます。

14:49	Toyota v7.86					Batt: 13.30 V
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	
走行距離	8		8	8	8	
走行距離用単位	km					
車速	0	km/h	0	0	0	
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0	
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0	
絶対負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0	
↑ データ保存 印刷 ↓						

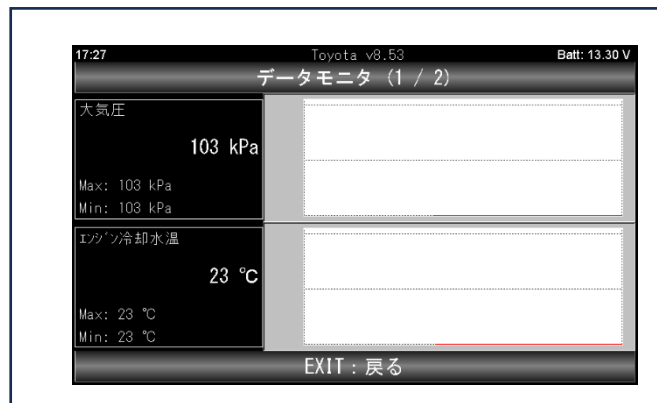
7-3-2 リスト表示中の操作

14:51	Toyota v7.86					Batt: 13.29 V
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	
走行距離	8		8	8	8	
走行距離用単位	km					
車速	0	km/h	0	0	0	
エンジン回転数	0	rpm	0	0	0	
エンジン負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0	
絶対負荷値	0.0	%	0.0	0.0	0.0	
↑ データ保存 印刷 ↓						

[上下]ボタンで1項目ずつ表示がスクロールします。
また、画面下左右の[↑][↓](上下矢印ボタン)を選択して[ENTER]を押すとページ移動ができます。

リスト表示画面では「データ保存」「印刷」ができます。
保存したデータは「履歴」から閲覧できます。
詳しくは「[9. 履歴](#)」をご覧ください。

7-3-3 グラフ表示中の操作



[上下]ボタンで表示が2項目ずつスクロールします。
※複数選択した場合でも、2項目毎の表示となります。

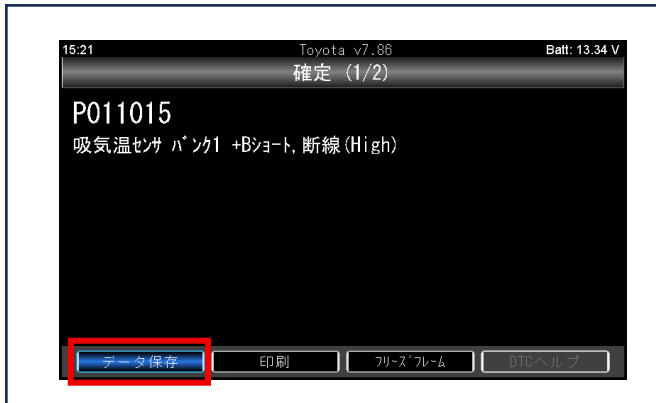
7-4 データ保存

7-4-1 故障コードの保存

- (1) 「故障コードの読取」画面で[ENTER]ボタンを押します。



- (2) 詳細表示画面から[データ保存]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) データが保存されます。
保存したデータは「履歴」から閲覧できます。
詳しくは「[9. 履歴](#)」をご覧ください。



7-4-2 データモニタの保存

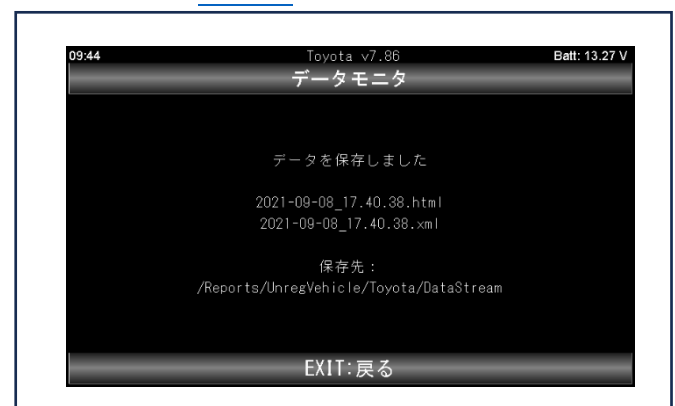
- (1) データモニタ リスト表示画面から[データ保存]を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (2) データの保存が開始されます。[ENTER]または[EXIT]ボタンを押すまで保存し続けます。ボタンを押すと保存を終了します。



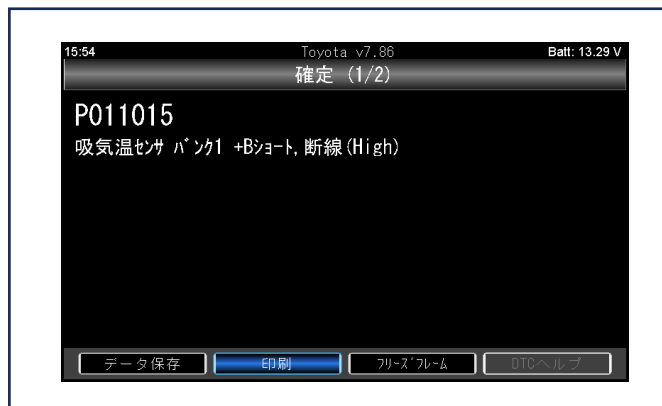
- (3) データが保存されます。
保存したデータは「履歴」から閲覧できます。
詳しくは「[9. 履歴](#)」をご覧ください。



7-5 結果を印刷する

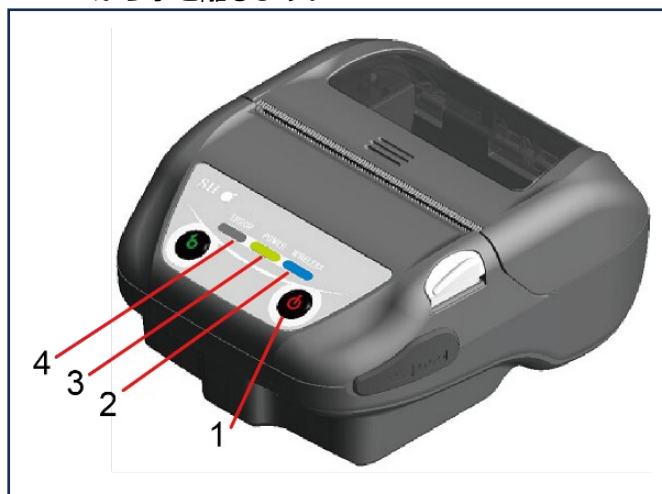
TPM-7 は Bluetooth 機能を使用して、Bluetooth ミニプリンター（TP-SIIMP-B30）と接続して印刷することが可能です。初めて印刷を行う際は下記手順で設定（ペアリング）を行ってください。

- (1) 画面下に「印刷」ボタンが表示されている画面を表示します。

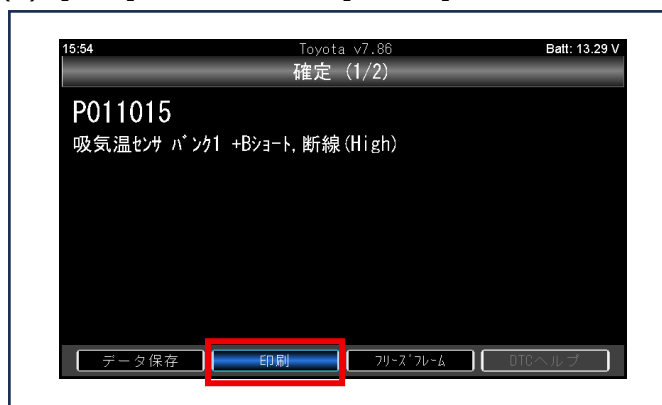


- (2) プリンターの電源を ON にし、ペアリング待機状態にします。

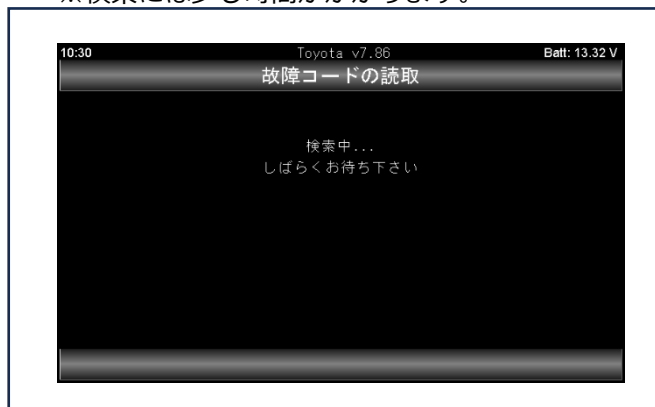
- ① 電源ボタン[1]を長押しします。
- ② POWERランプ [3] の緑が点灯して WIRELESS ランプ [2]の青が点滅から 2 回点滅を繰り返すまで長押しします。
- ③ 青ランプが 2 回点滅を繰り返し始めたらボタンから手を離します。



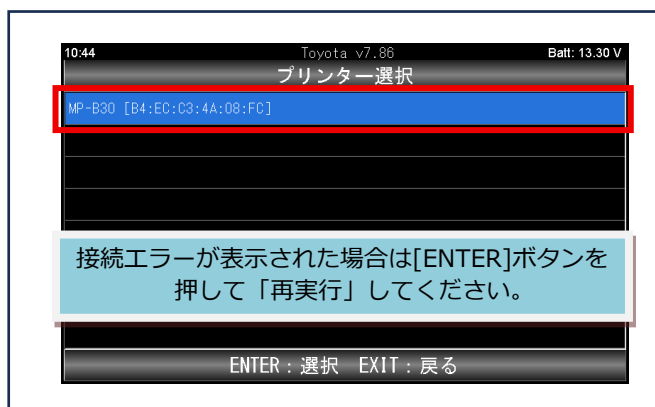
- (3) [印刷]ボタンを選択し [ENTER]ボタンを押します。



- (4) 診断機がプリンターの検索を開始します。
※検索には少し時間がかかります。



- (5) プリンターが検出されたら[ENTER]ボタンを押します。



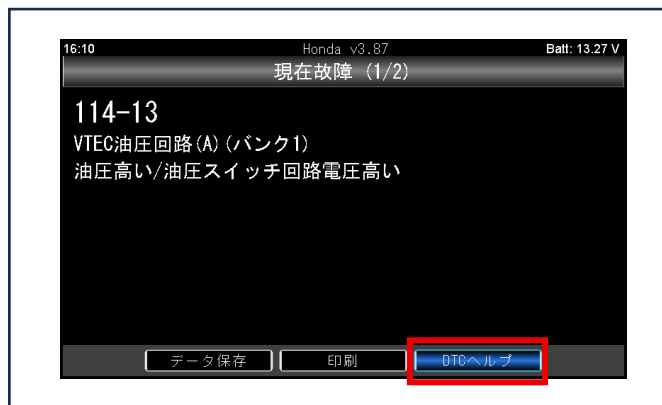
- (6) プリンターが登録され印刷が開始されます。



一度登録されると、次回からプリンター選択画面は表示されません。

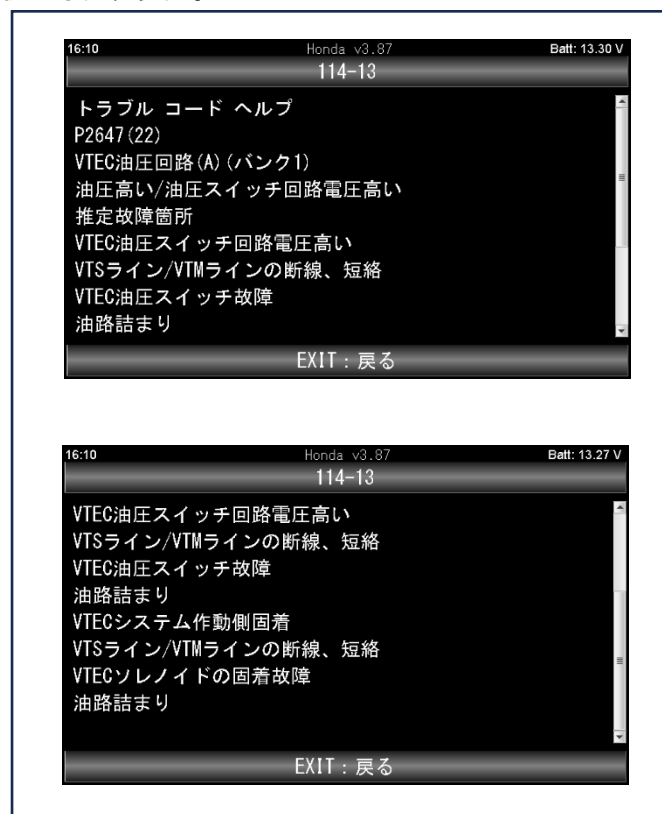
7-6 DTC ヘルプ機能

診断ソフトによってはDTCヘルプ機能があります。
故障コードの詳細画面の表示で「DTCヘルプ」を選択して[ENTER]ボタン押します。



DTC ヘルプ画面では故障コードの検出条件などの情報が表示されます。

例：ホンダソフト



7-7 カスタマイズ

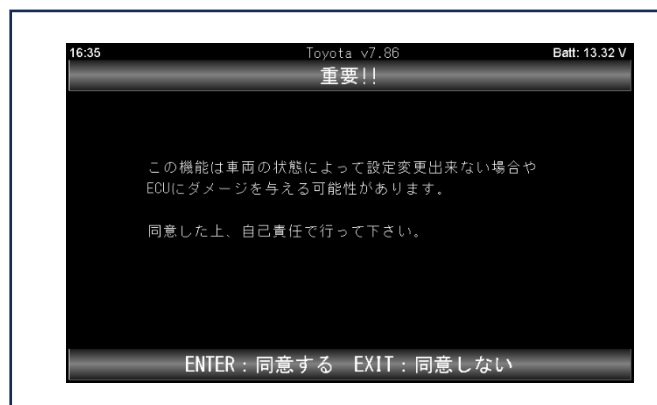
注意：カスタマイズ機能はメーカーにより異なります。

※トヨタ車のシートベルトウォーニングブザー設定を例に説明します。

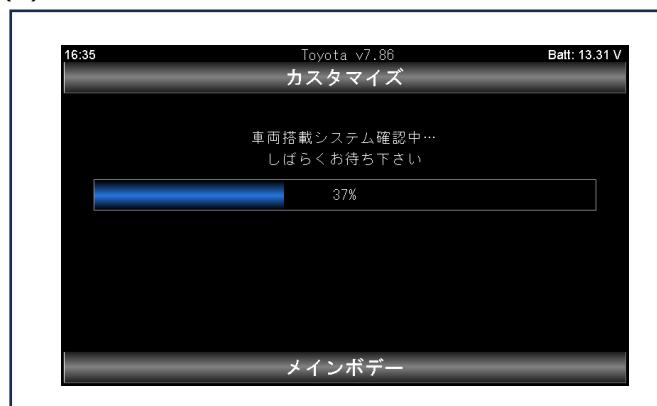
- (1) 7-1-1 (1) から (6) の手順にて、メーカーソフトを起動します。
- (2) 「カスタマイズ」を選択し、[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 注意事項が表示されます。確認して[ENTER]ボタンを押します。



- (4) 搭載システムの検出を開始します。



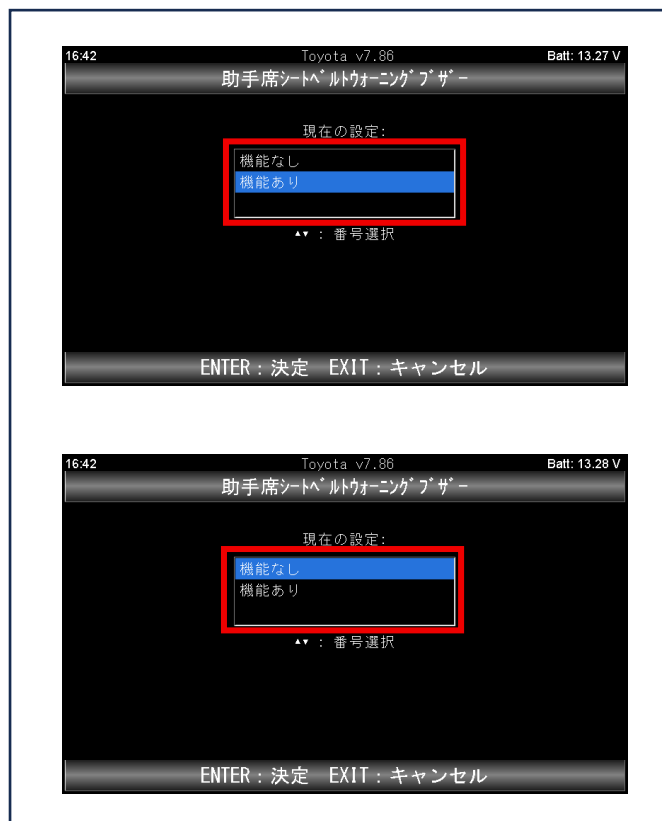
- (5) カテゴリー別に表示されます。
「ウォーニング」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



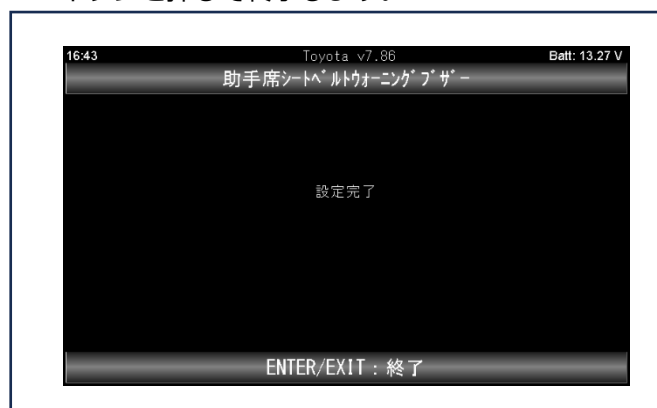
- (6) 「助手席シートベルトウォーニングブザー」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (7) 現在の設定が反転して表示されます。
上下矢印ボタンで選択後[ENTER]ボタンを押して決定します。



- (8) 設定が変更されました。[ENTER]または[EXIT]ボタンを押して終了します。



7-8 作業サポート

注意：作業サポートの手順はメーカー発行の整備書を参照してください。

※トヨタ車の整備モード移行を例に説明します。

- (1) 7-1-1 (1) から (6) の手順にて、メーカーソフトを起動します。
- (2) トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。「作業サポート」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 搭載システムの検出が開始されます。



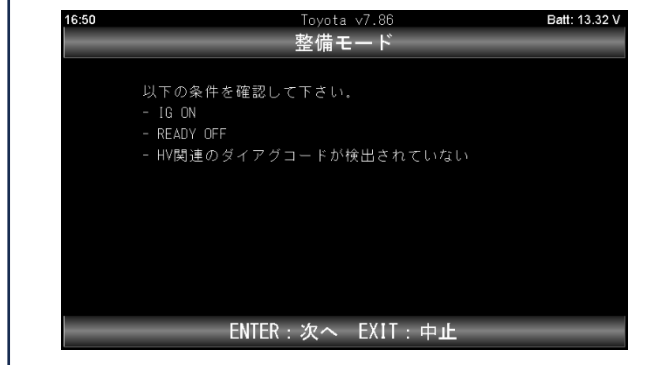
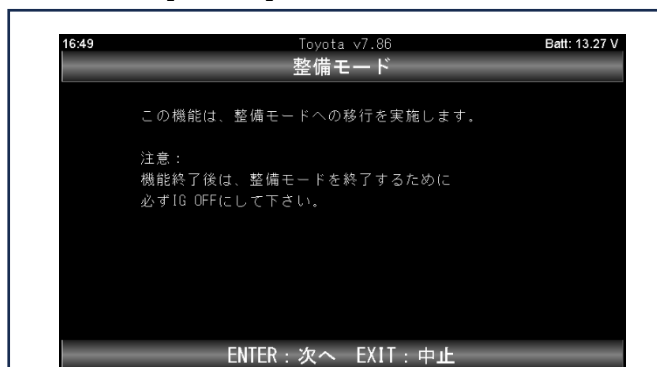
- (4) システム選択画面から「HV」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



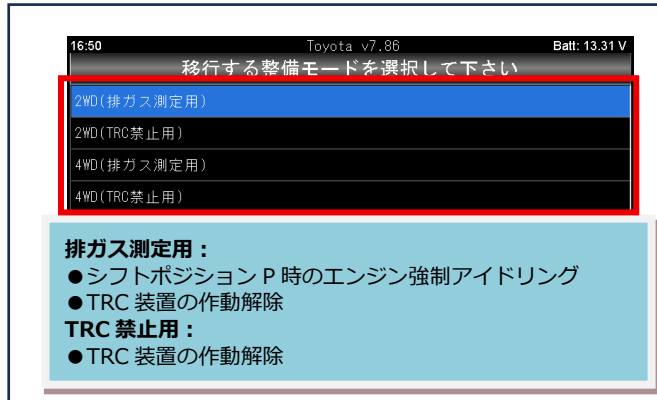
- (5) 機能一覧画面から「整備モード」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



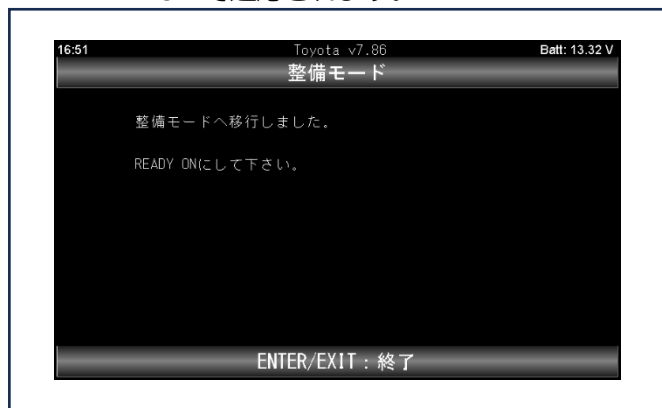
- (6) 機能説明と前提条件が表示されます。確認して[ENTER]ボタンを押します。



- (7) 整備モード選択画面から目的に合ったモードを選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (8) 整備モードへの移行が完了しました。
READY ON で適応されます。



7-9 アクティブテスト

注意：作業サポートの手順はメーカー発行の整備書を参照してください。

※トヨタ車のエンジンパワーバランスを例に説明します。

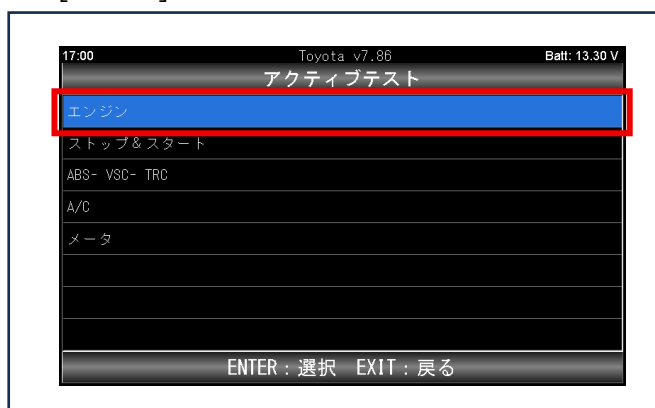
- (1) 7-1-1 (1) から (6) の手順にて、メーカーソフトを起動します。
- (2) トヨタ診断ソフトのメインメニューまで進みます。
「アクティブテスト」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 搭載システムの検出が開始されます。



- (4) システム選択画面から「エンジン」を選択し[ENTER]ボタンを押します。



- (5) 機能一覧画面から「パワーバランス」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (6) 左右ボタンで気筒を選択して[ENTER]ボタンを押して実行します。



8. 特殊機能

「特殊機能」は作業サポート機能をまとめて、選択の手間を省略化した機能です。
メンテナンスモード、DPF 再生機能、エーミングモード、簡易バッテリーテストが実行できます。

8-1 特殊機能の各アイコン

	メンテナンスモード： ブレーキのエア抜きや整備モードなどよく行う作業サポート項目をまとめてあります。
	DPF： DPF 再生に関連する機能をまとめてあります。
	エーミング： エーミングに関連する機能をまとめてあります。
	簡易バッテリーテスト： 車両側 OBD2 コネクタのバッテリー端子の電圧からバッテリーの簡易点検を行います。 ※ガソリン車のみ
	VNC： LAN ケーブルで接続された TPM-7 をパソコンで操作できます。
	J2534 モード： OBD 検査モードへ切り替えます。 手順はクイックスタートガイドをご覧ください。

8-2 DPF 再生機能

※いすゞ車を例に説明します。

(1) 「特殊機能」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(2) 「DPF」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(3) 車両メーカーから「いすゞ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



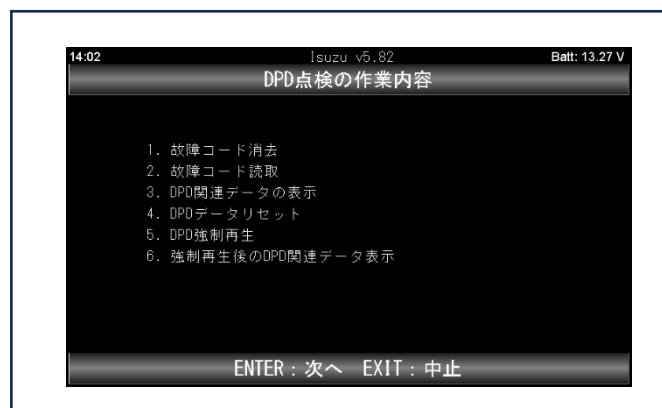
(4) 画面にしたがい車両を選択してください。



- (5) 「DPF 関連データモニタ」「DPF 点検モード」選択画面が表示されます。



- (6) 「DPF 点検モード」を選択すると、画面に作業内容が表示されます。[ENTER]を押すことで作業指示が表示されますので、指示にしたがい作業を進めてください。



注意：カーメーカー、車種、年式毎に対応している機能が異なります。整備書をよくご確認の上、車両整備を実施してください。

8-3 エーミング

※トヨタ プリウスを例に説明します。

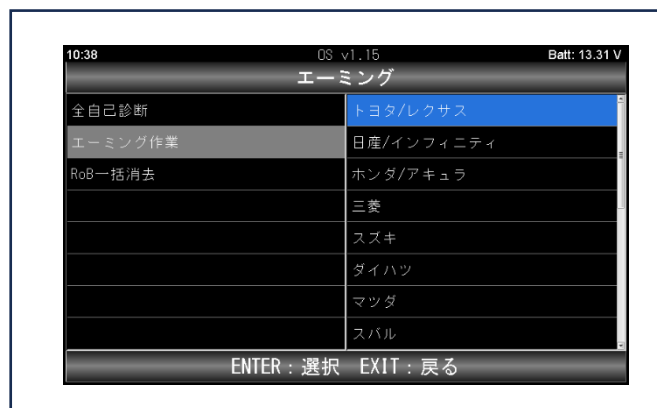
- (1) 「特殊機能」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (2) 「エーミング」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



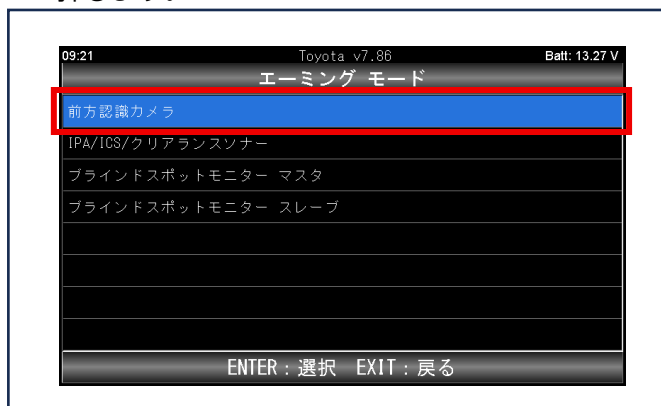
- (3) 「エーミング作業」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



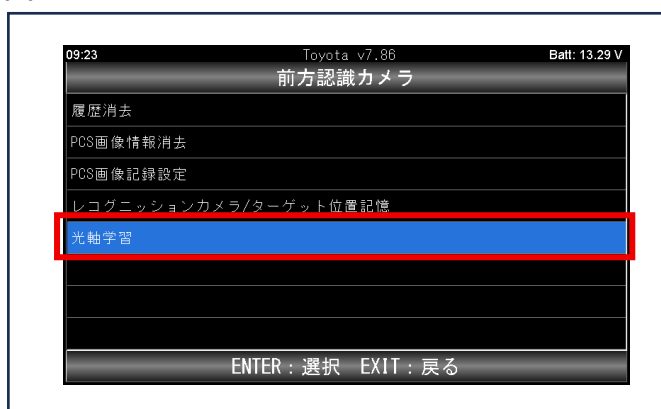
- (4) 画面にしたがい車両を選択してください。



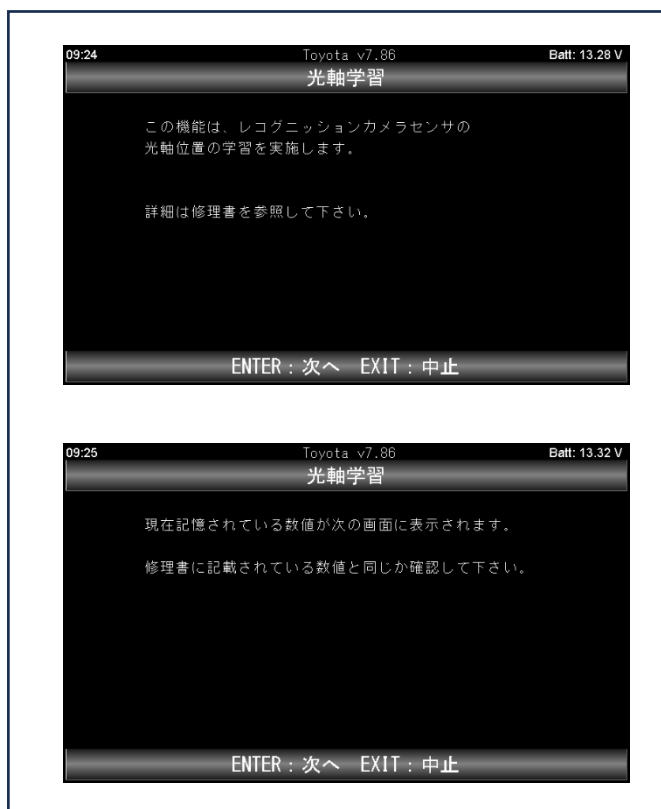
- (5) 車両搭載システム確認後、エーミング項目一覧が表示されます。
 (例：カメラ光軸調整を行います。)
 「前方認識カメラ」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (6) 「光軸学習」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



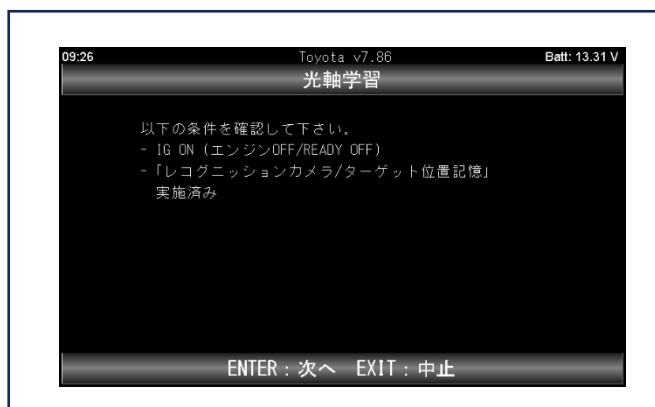
- (7) 表示内容を確認して[ENTER]ボタンを押します。



- (8) 数値を確認して[ENTER]ボタンを押します。



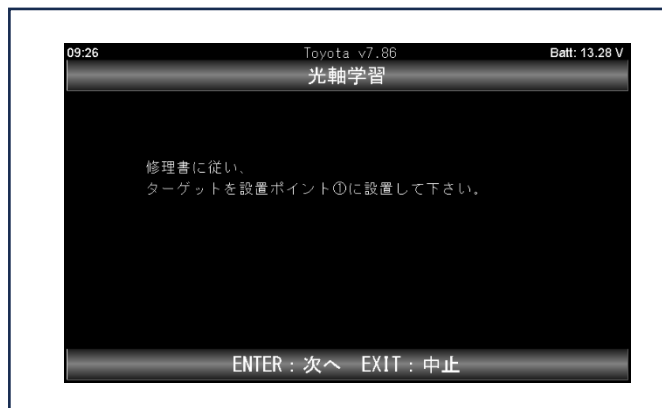
- (9) エーミングを実施する為の前提条件を確認して[ENTER]ボタンを押します。



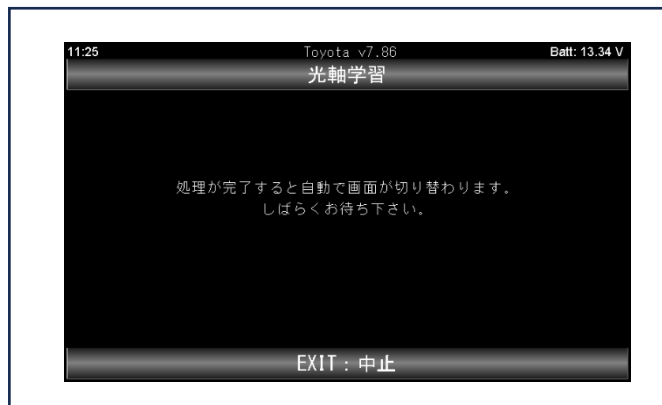
- (10) 「一括認識」「順次認識」の学習方法選択画面が表示されます。どちらか選択して[ENTER]ボタンを押します。(例：一括認識)



- (11)整備書にしたがい、ターゲットを設置します。
設置が完了したら[ENTER]ボタンを押します。



- (12)学習処理が完了するまでしばらく待機します。



- (13)「光軸学習が完了しました。」画面に切替われば、学習完了です。



注意：カーメーカー、車種、年式毎に対応している機能が異なります。整備書をよくご確認の上、車両整備を実施してください。

8-4 簡易バッテリーテスト

この機能は 12V バッテリーと充電システムの簡易点検が行えます。(HV 車および 24V 車は対象外)
なお、端子電圧のみで判定を行うため、最終的な良否判断は CCA 値などの測定が可能なバッテリーチェッカーによる点検や整備書に基づいた点検を行い判定してください。

- (1) 車両が**イグニッション OFF**であることを確認して TPM-7 を車両側 OBD II コネクタに接続してからイグニッションを ON にします。
- (2) 「簡易バッテリーテスト」を選択して[ENTER]ボタンを押してください。



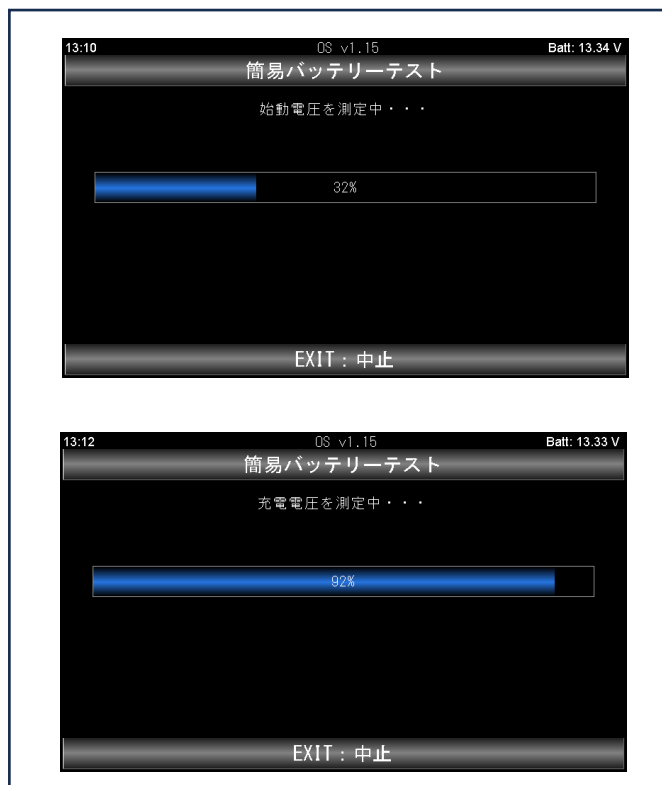
- (3) 車両の状態を確認する画面が表示されます。確認して[ENTER]ボタンを押します。



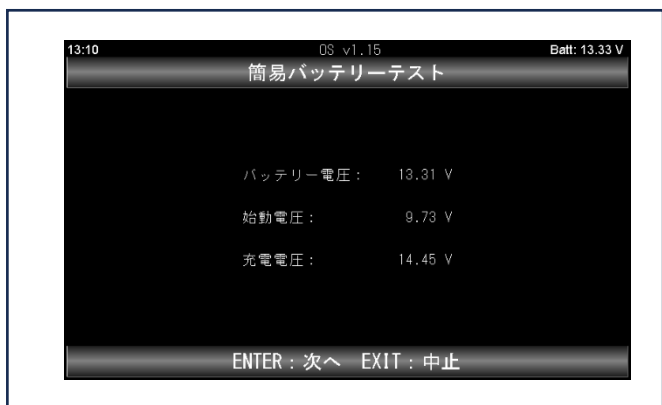
- (4) 始動前のバッテリー電圧が表示されます。画面にしたがい、エンジンを始動させてください。



- (5) 始動時のバッテリー電圧と充電電圧の計測が開始されます。



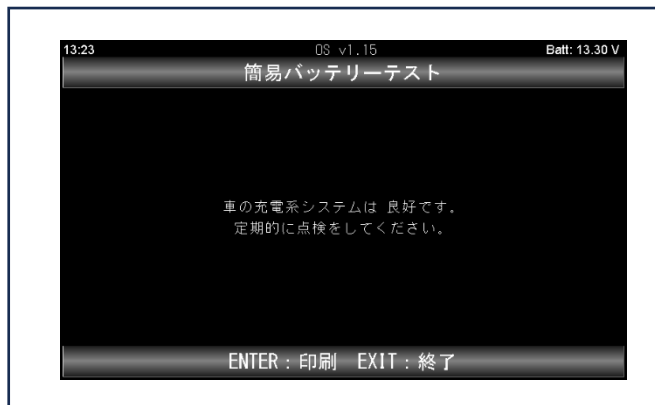
- (6) 計測された始動前、始動時、始動後の充電電圧値が表示されます。
[ENTER]ボタンを押します。



- (7) 計測した電圧値がグラフ表示されます。
[EXIT]ボタンを押します。



- (8) 点検結果が表示されます。



8-5 VNC

この機能は、操作するパソコンと同一ネットワーク上に LAN ケーブルで接続された TPM-7 を、無料ソフトの「VNC Viewer」を使用して操作できる機能です。



- Windows 用の無料ソフト「VNC Viewer」はインターネットで検索およびダウンロード、インストールする必要があります。
- ダウンロードおよびインストールは自己責任で行ってください。
- 使用方法是「VNC Viewer」の取扱説明書などでご確認ください。

- (1) TPM-7 を起動して LAN ケーブルを接続します。



- (2) 「VNC」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) IP アドレスが取得されると画面に表示されます。
TPM-7 はこのまま待機します。
- (4) パソコンの「VNC Viewer」を起動して手順にしたがい操作を行ってください。



9. 履歴

保存した故障コードやデータモニタの表示（再生）や削除が行えます。

9-1 保存データの表示（再生）

故障コードの表示

(1) 「履歴」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



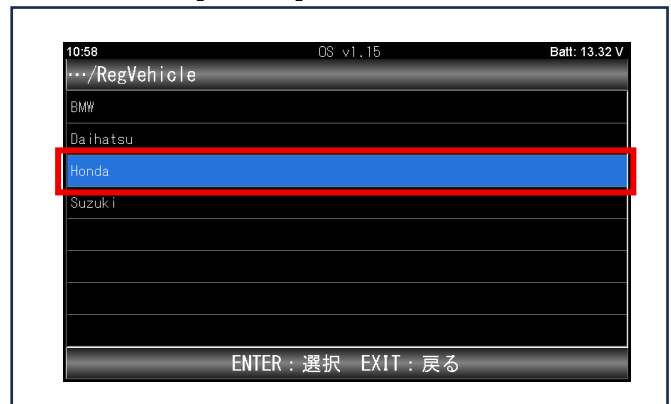
(2) 「再生」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



(3) 「登録済車両」「未登録車両」の選択画面が表示されます。いずれかを選択して[ENTER]ボタンを押します。(例：登録済車両)



(4) 保存した診断ソフト(メーカー)の一覧が表示されます。再生するデータが保存されている診断ソフトを選択して[ENTER]ボタンを押します。



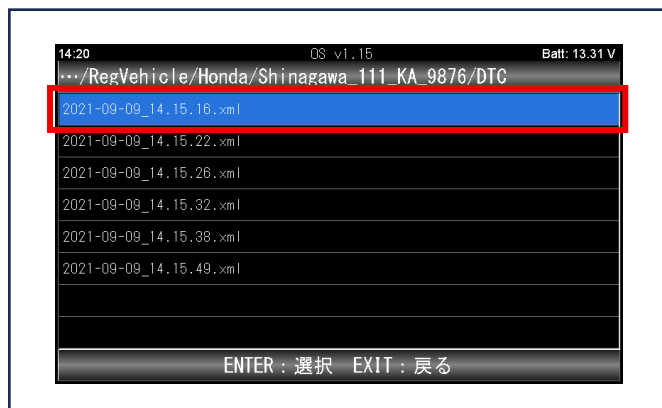
(5) 再生するデータが保存されている車両ナンバーを選択して[ENTER]ボタンを押します。



(6) 保存データ種類の選択画面が表示されます。「DTC」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (7) 保存データ一覧が表示されます。
再生するデータを選択し[ENTER]ボタンを押します。



- (8) 保存したデータ、システムが表示されますので選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (9) 保存されたデータが表示されます。



データモニタの表示

- (1) 9-1 (1) から (6) の手順にて、保存データ種類の選択画面を表示させます。
(2) 「DataStream」を選択して[ENTER]ボタンを押します。

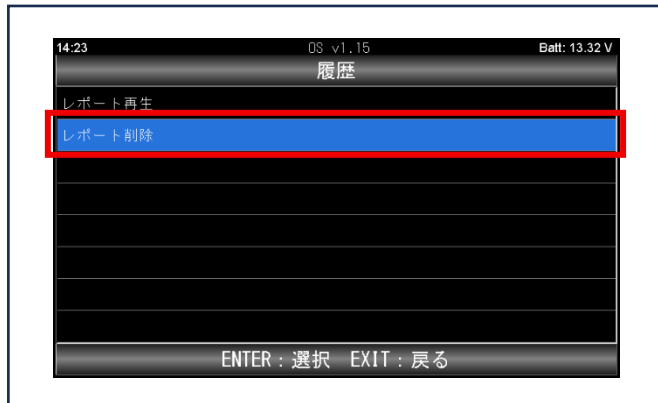


- (3) 表示項目選択画面が表示されます。
表示項目を選択後、「開始」を選択して[ENTER]ボタンを押すと保存データに切り替わります。
データモニタ表示中に左右矢印ボタンを押すと保存データがコマ送りで表示されます。

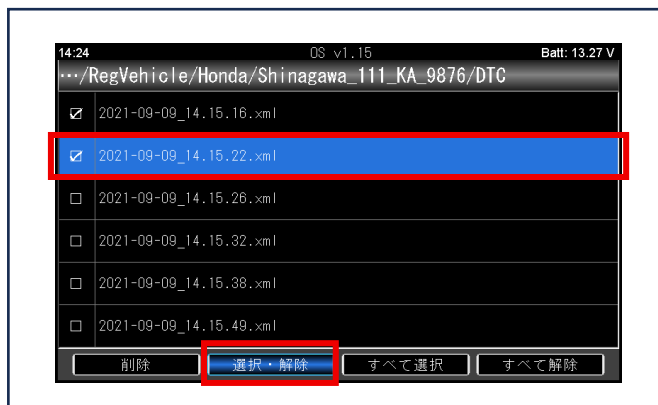


9-2 保存データの消去

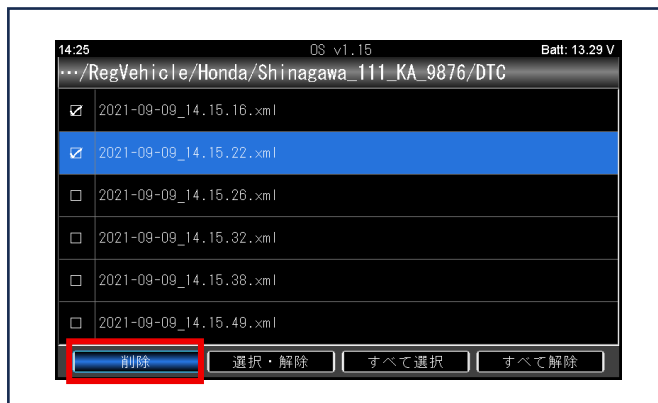
- (1) 「履歴」メニューから「レポート削除」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (2) 9-1 保存データの表示 (3) から (6) の手順にて保存データ一覧を表示させます。
データ選択画面が表示されますので、[選択・解除]、[全て選択]、[全て解除]ボタンのいずれかを使用して削除するファイルに☑を入れます。



- (3) [削除]ボタンを選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (4) 「ファイルを削除しますか？」画面が表示されます。
問題がなければ[ENTER]ボタンを押して実行します。保存データが削除されました。



10. その他のアップデート方法

10-1 イーサネットによるアップデート

- (1) 付属の AC アダプタを使用して本体に電源供給し、LAN ケーブルを本体に接続します。



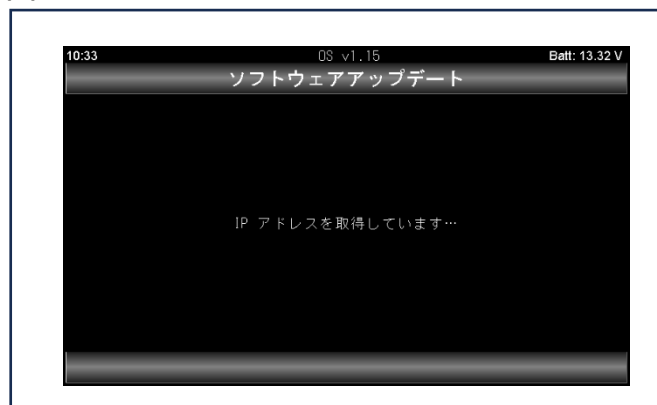
- (2) 「ソフトウェア更新」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) 「イーサネット」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



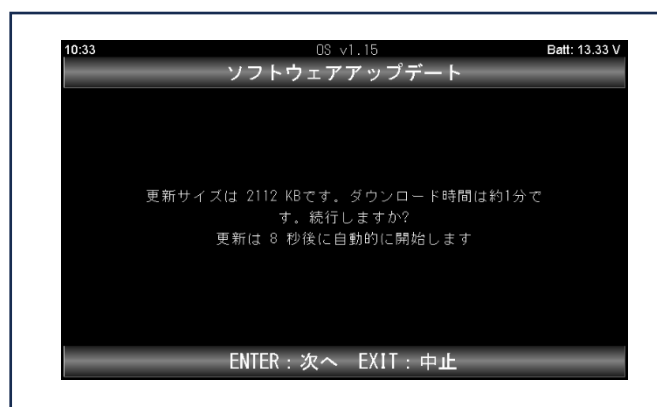
- (4) IP アドレス、ファイルの取得が開始されます。



- (5) ファイルの整合性のチェックが開始されます。



- (6) ダウンロードの確認画面が表示されます。
[ENTER]ボタンを押すか、暫くすると自動で開始します。



更新サイズやご利用の回線によって、ダウンロード時間は異なります。

(7) ダウンロードが開始されます。



(8) 完了すると更新完了のメッセージが表示されます。
[ENTER/EXIT]いずれかのボタンを押して終了します。

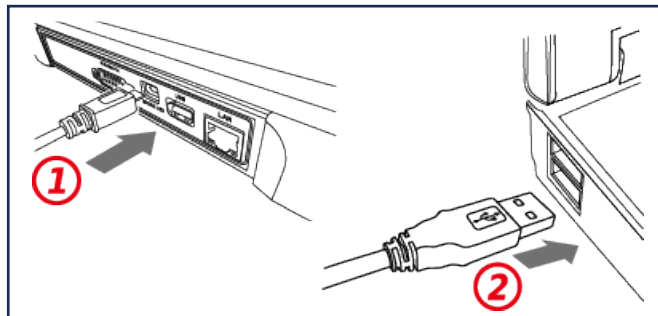


10-2 USB メモリによるアップデート

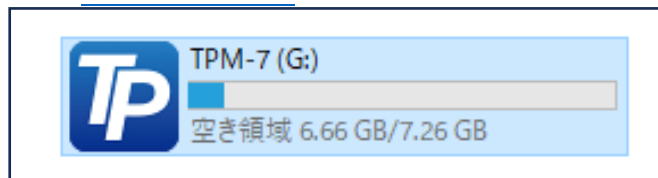
データサーバーからソフト一式をダウンロードし USB メモリを経由してアップデートを行う方法です。
データサーバーへのアクセスにはパスワードが必要です。

10-2-1 パスワードの確認

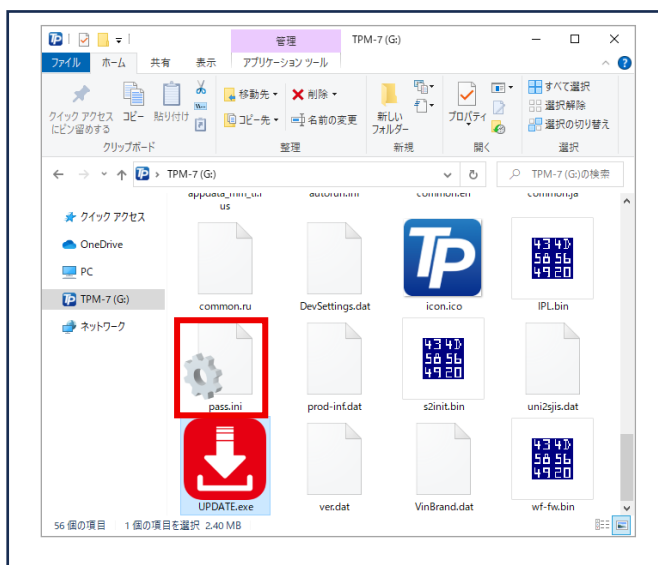
(1) TPM-7 とパソコンを付属の micro USB ケーブルで接続します。



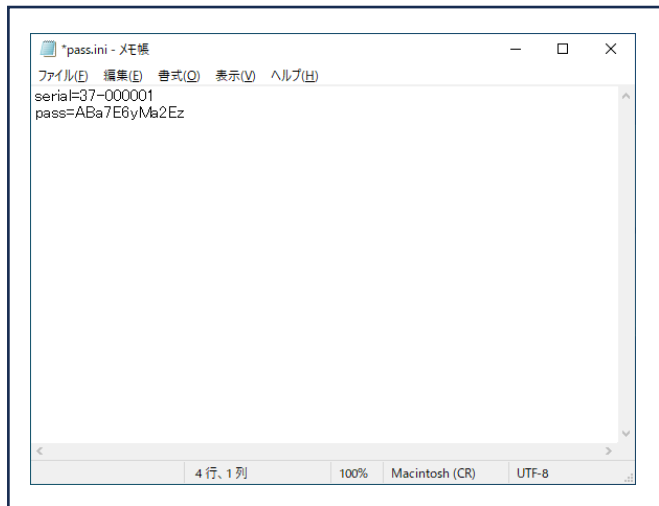
(2) エクスプローラーを起動し「デバイスとドライブ」に表示される「TPM-7」をダブルクリックします。
※エクスプローラーが自動で起動する場合は (3) へ進んでください。
※ドライブの開き方は [4. ユーザー登録_TPM-7 ドライブの開き方](#) をご覧ください。



(3) TPM-7 内の「pass.ini」をダブルクリックします。



- (4) serial (シリアル番号) と pass (パスワード) の確認を行います。



注意：パスワードは変更しないでください。変更した場合アップデートができなくなります。



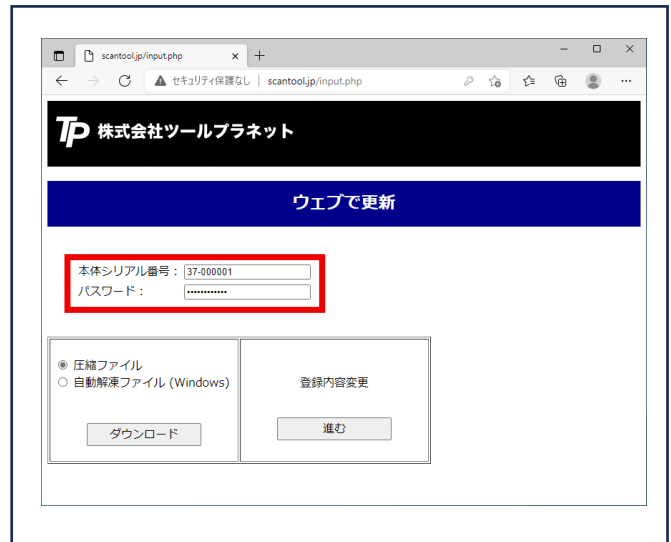
- パスワードは必要に応じてはコピーしてください。

10-2-2 データダウンロード

- (1) ご使用のブラウザを起動して、アドレスバーに「scantool.jp」と入力して ENTER キーを押し、ウェブ更新サイトへアクセスします。
- (2) 日本語が選択されていることを確認して「進む」をクリックします。



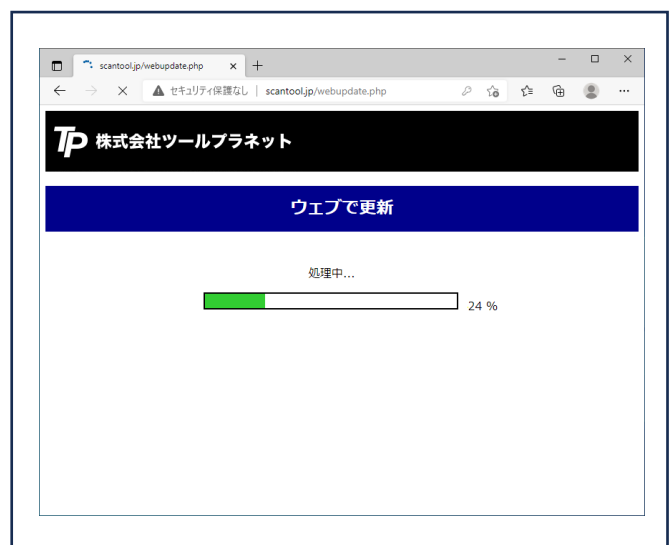
- (3) 10-2-1 で確認した本体シリアル番号とパスワードをそれぞれ入力します。



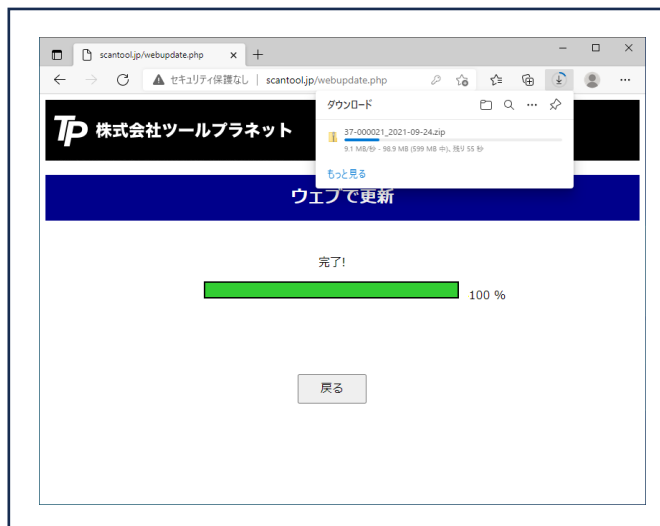
- (4) 「圧縮ファイル」が選択されていることを確認して「ダウンロード」をクリックします。



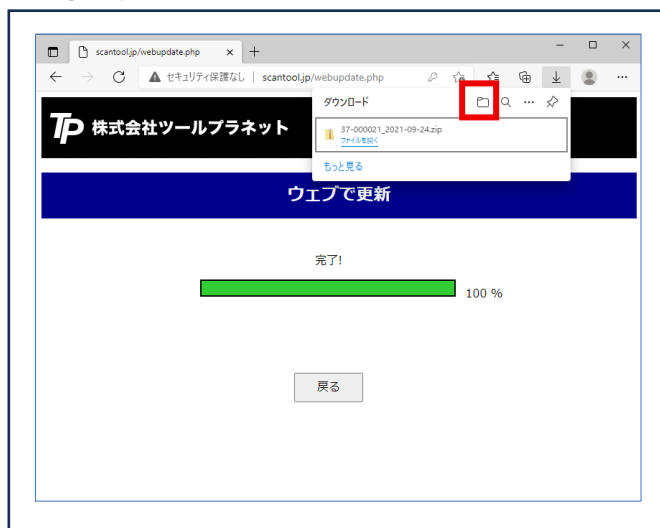
- (5) 処理が開始されます。



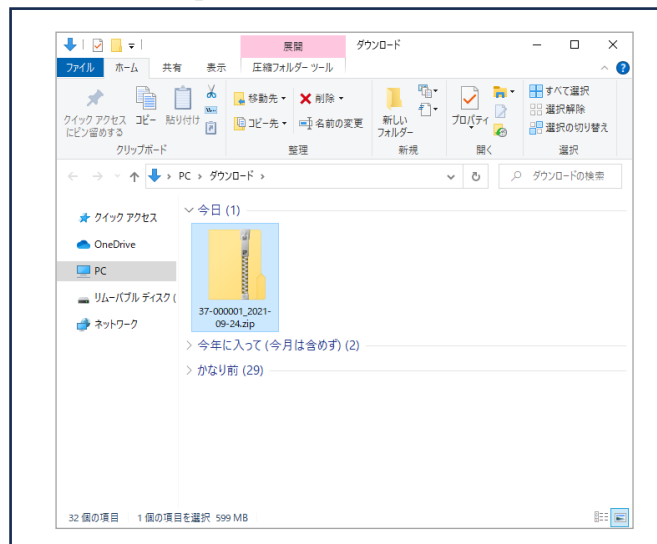
- (6) 処理が完了すると圧縮ファイル (.zip) 形式で指定されている保存先に自動でダウンロードが開始されます。(通常は「ダウンロードフォルダ」に保存されます。)



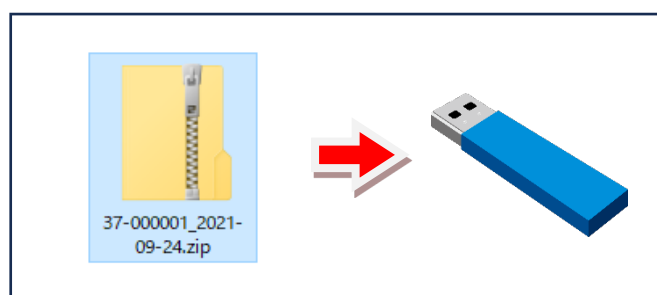
- (7) ダウンロードが完了しました。ダウンロードフォルダ (フォルダアイコン)をクリックして表示します。



- (8) ダウンロードされた圧縮ファイル (.zip) が確認できます。ファイル名は「ご使用機器のシリアル番号+日付」です。



- (9) ダウンロードした圧縮ファイルを USB メモリにコピーします。(USB メモリは別途ご用意ください)



- (10) 付属の AC アダプタを使用して本体に電源供給し、ファイルをコピーした USB メモリを本体に接続します。



10-2-3 ソフトウェア更新

- (1) メインメニュー内の「ソフトウェア更新」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (2) 「USB 接続」を選択して[ENTER]ボタンを押します。



- (3) ファイルの選択画面が表示されます。USB メモリにコピーしたファイルを選択します。
(例 : 「37-000001_2021-09-17.zip」)



- (4) アップデートが開始されます。



- (5) 完了すると更新完了のメッセージが表示されます。
[ENTER/EXIT]いずれかのボタンを押して終了します。

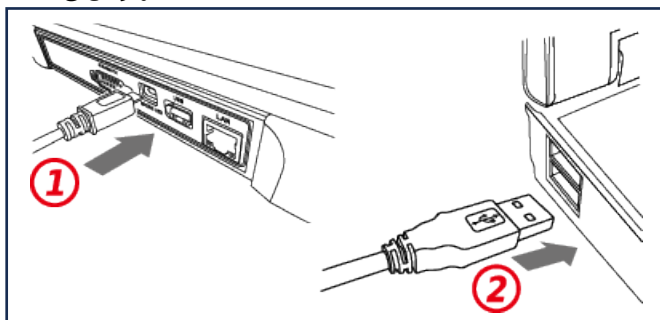


11. 保存データを PC で確認する

保存したデータは本体とパソコンを接続して確認することができます。

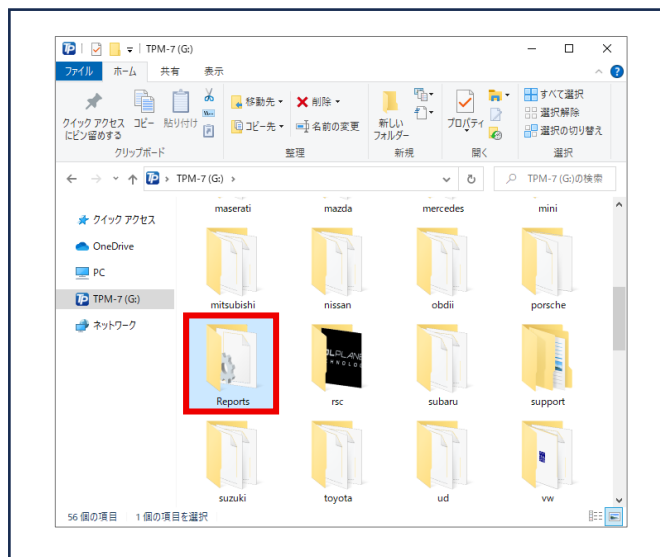
11-1 ファイルを表示する

- (1) 本体とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

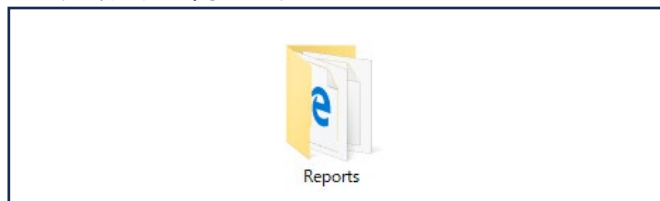


- (2) パソコンの自動再生が ON に設定されている場合は TPM-7 のドライブが開きます。

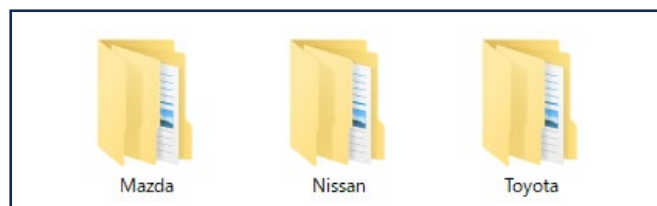
※自動再生しない場合は、ドライブの開き方は、[4. ユーザー登録_TPM-7 ドライブの開き方](#)をご覧ください。



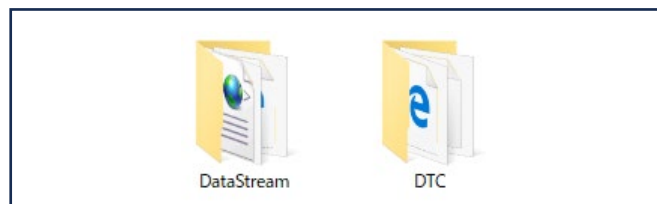
- (3) 「TPM-7」のドライブ内にある「Reports」フォルダを開きます。



- (4) 保存を実行した診断ソフト毎にカーメーカー名のフォルダが表示されます。選択してカーメーカー名のフォルダを開きます。



- (5) 保存を実行した機能名のフォルダが表示されます。選択してフォルダを開きます。



- (6) 保存したデータファイルの一覧が表示されます。一つの保存ファイル毎に拡張子が「html」と「xml」のファイルがそれぞれ保存されています。拡張子「html」のファイルを開きます。

名前	更新日時	種類
2019-10-21_09.00.33.html	2019/10/21 9:00	HTML ファイル
2019-10-21_09.00.33.xml	2019/10/21 9:00	XML ドキュメント
2019-10-21_09.00.38.html	2019/10/21 9:00	HTML ファイル
2019-10-21_09.00.38.xml	2019/10/21 9:00	XML ドキュメント
2020-02-18_19.10.37.html	2020/02/18 19:10	HTML ファイル
2020-02-18_19.10.37.xml	2020/02/18 19:10	XML ドキュメント
All_2020-02-18_19.10.19.html	2020/02/18 19:10	HTML ファイル
All_2020-02-18_19.10.19.xml	2020/02/18 19:10	XML ドキュメント

- (7) ご使用のブラウザが起動して保存データが表示されます。

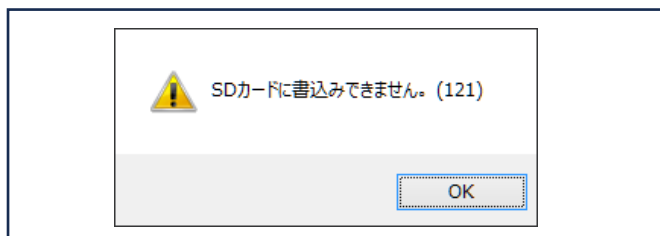
メーカー: マツダ	
システム	状態
PCM(エンジン)	1 / 3 : P0107:00 吸気圧センサNo.2系統:低入力
	2 / 3 : P0118:00 冷却水温センサ系統:高入力
	3 / 3 : P0472:00 排気圧センサNo.1系統:低入力
TCM(トランスミッション)	OK
ABS/DSC	1 / 3 : C0023:62 ストップ・ライト・スイッチ系統
	2 / 3 : C0089:64 TCS/DSC OFFスイッチ系統
	3 / 3 : U0003:1C 電源系統

12. トラブルシューティング

アップデートが正常にできない場合は、セキュリティソフトやパソコンの設定で外部メモリへの書き込みが禁止されている場合があります。事前に設定などを確認した上で以下の手順を行ってください。

12-1 書き込みができない (症例 1)

[アップデートチェック]ボタンを押しても「書き込み出来ません」「再試行してください」とメッセージが表示されてアップデートが行えない。



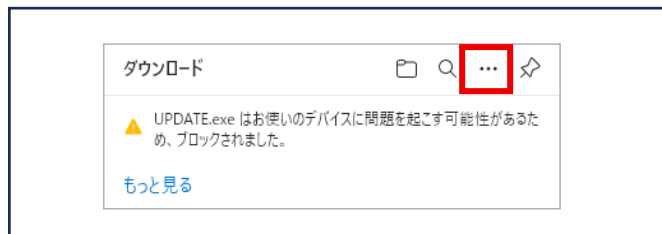
「UPDATE.exe」(アプリケーション)を最新のバージョンにして行ってください。

アプリケーションを最新にすることにより、アップデートを行える場合があります。

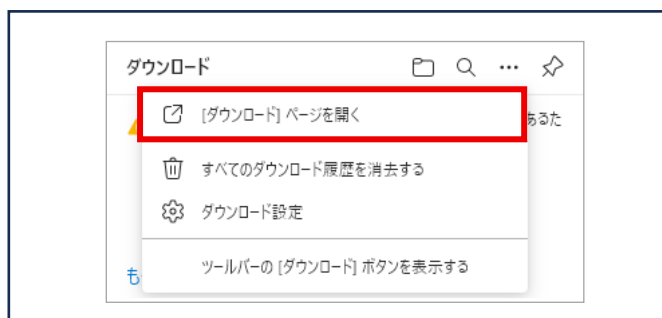
(1) 以下のリンク先にアクセスしてください。

<https://toolplanet.co.jp/scantool/downloads/update/UPDATE.exe>

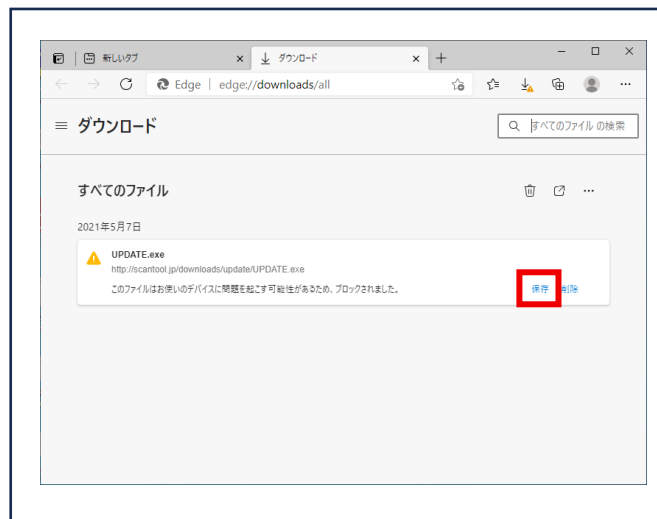
(2) メッセージが画面上部に表示されますので、「…」をクリックします。(例: Microsoft Edge の場合)



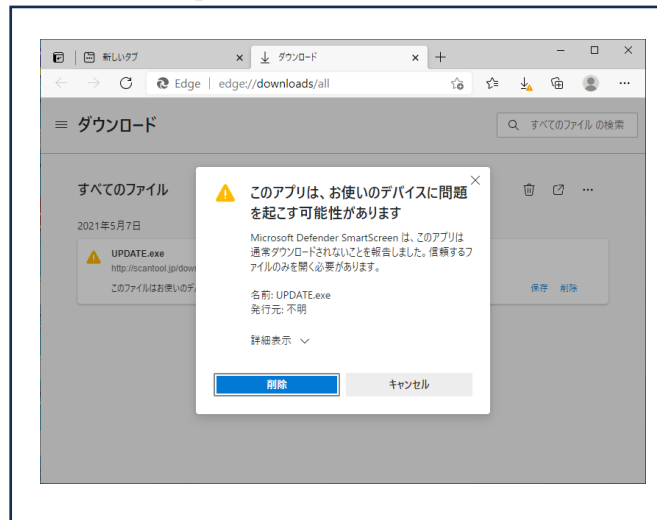
(3) 「[ダウンロード]ページを開く」をクリックします。



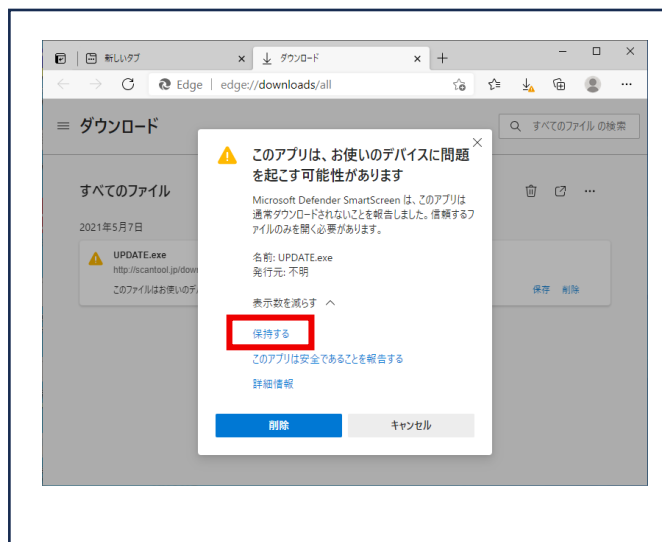
(4) ダウンロードの「すべてのファイル」内にダウンロードがブロックされている「UPDATE.exe」が確認できます。右端の「保存」をクリックします。



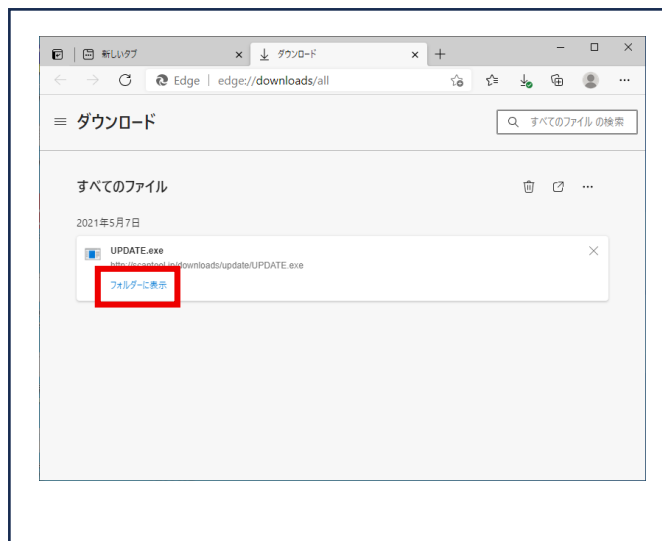
(5) ポップアップでエラー画面が表示されます。「詳細表示」をクリックします。



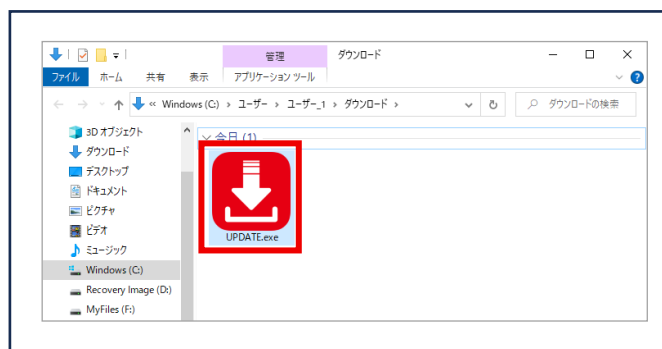
(6) 「保持する」をクリックします。



(7) ダウンロードが完了しました。
「フォルダーに表示」をクリックします。

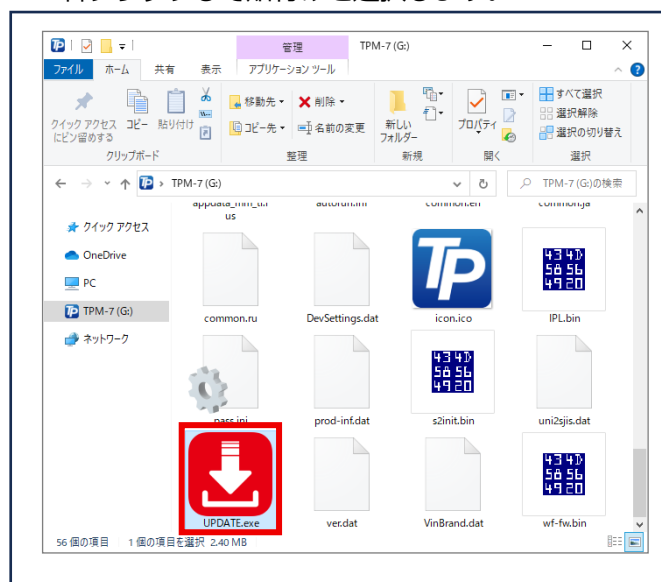


(8) ダウンロードフォルダにて「UPDATE.exe」が確認できます。



(9) ダウンロードしたファイル (UPDATE.exe) を
右クリックしてコピーします。

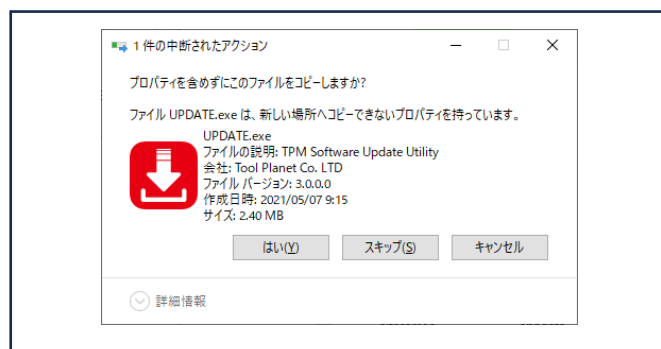
(10) 「TPM-7」のフォルダを開いて、フォルダ内を
右クリックして貼付けを選択します。



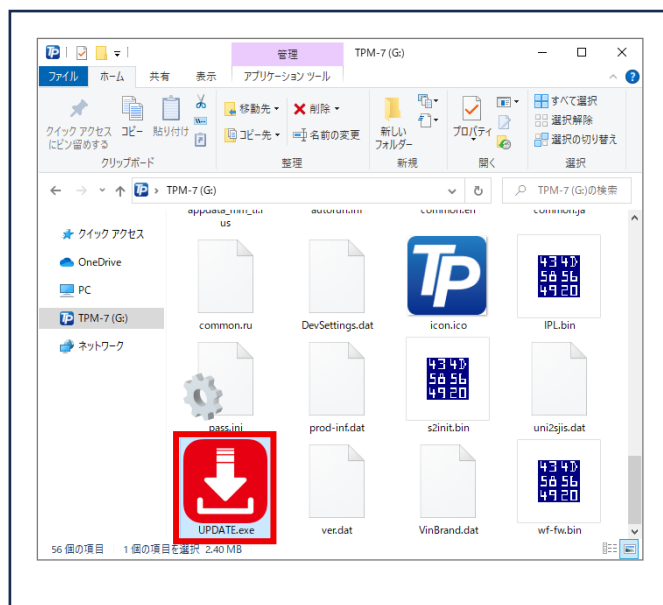
(11) 同名のファイルがある場合は以下のメッセージが
表示されますので[ファイルを置き換える]を
クリックします。



● 次のダイアログが表示された場合は「はい」を
クリックしてください。



(12)保存が完了したらクイックスタートガイドを参考にアップデートを行ってください。



12-2 書込みができない (症例 2)

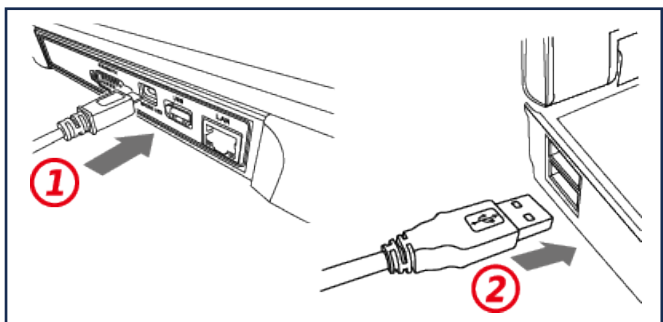
アプリケーション最新化しても解消しない。

フォーマットしてアップデートを行ってください。

アプリケーションを最新にしても書込みが出来ない時は、フォーマットすることにより正常に書込みができる場合があります。

注意：フォーマットする前に必要なファイルをパソコンへバックアップ（保存）してください。

(1) TPM-7 を付属の USB ケーブルを使用してパソコンに接続します。



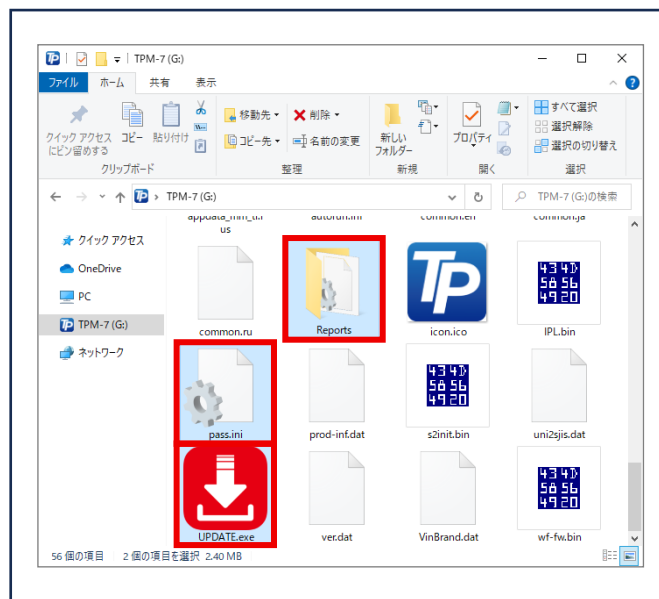
(2) パソコンの自動再生が ON に設定されている場合は TPM-7 のドライブが開きます。

※自動再生しない場合は、ドライブの開き方は、

[4. ユーザー登録_TPM-7 ドライブの開き方](#)をご覧ください。

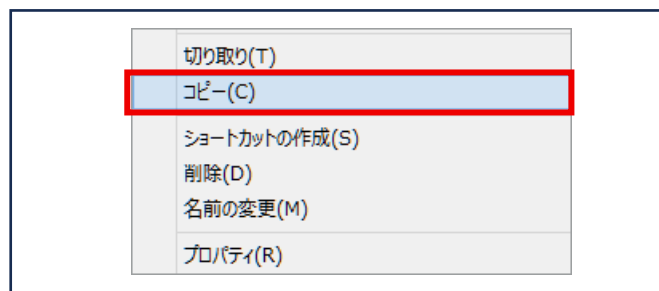
(3) 画像を参考に以下のファイルをコピーします。

- UPDATE (UPDATE.exe) (アプリケーション)
- pass (pass.ini) (構成設定ファイル)
- Reports (フォルダ)

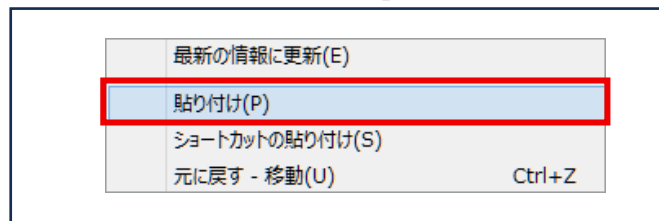


- 「Reports」フォルダは、故障コードやデータ表示などで[保存]を実行した場合にファイルが保存されているフォルダです。保存してなければコピーする必要はありません。

(4) 対象ファイルを右クリックして「コピー」をクリックします。

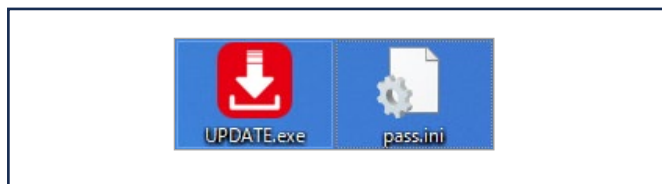


(5) コピー先（デスクトップなど任意の場所に）で右クリックして「貼り付け」をクリックします。



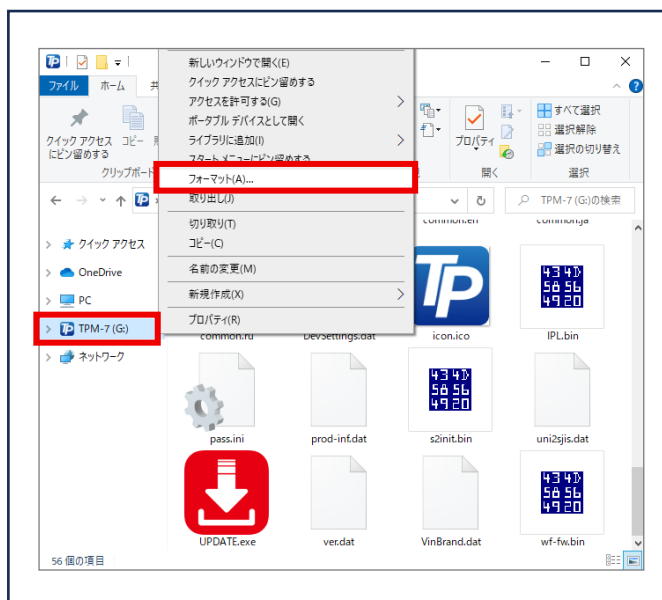
- ドラッグ＆ドロップで任意の場所に移動しても問題ありません。

- (6) パソコンへ必要なファイルのバックアップ（保存）が完了しました。

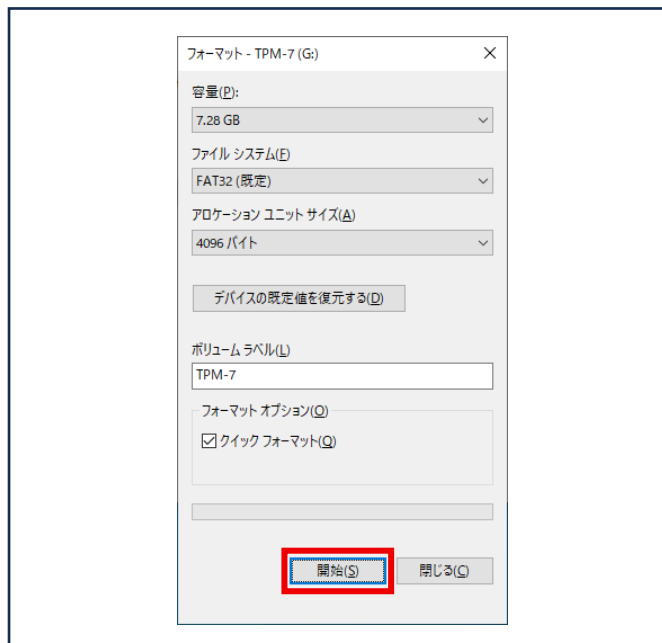


- (7) バックアップが完了したらフォーマットを開始します。「TPM-7」のドライブを右クリックして「フォーマット」をクリックします。

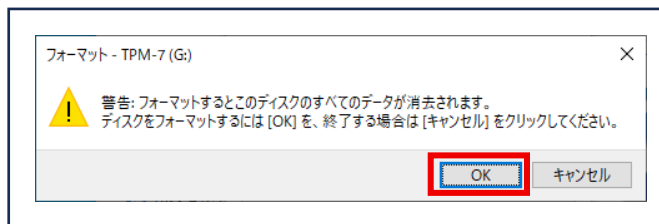
注意：フォーマットするドライブにご注意ください



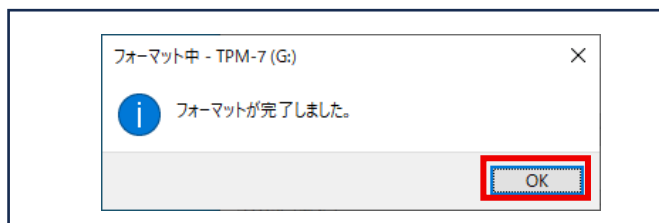
- (8) フォーマットの画面が表示されますので、[開始]をクリックします。



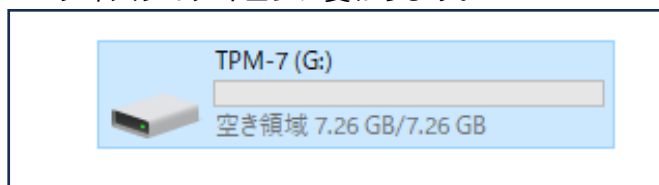
- (9) フォーマットの確認メッセージが表示されます。確認して[OK]ボタンをクリックします。



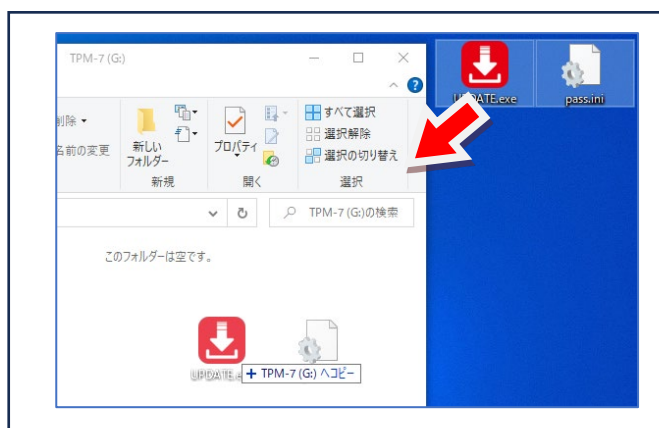
- (10) フォーマット完了のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックします。



- (11) フォーマットが完了すると、通常のリムーバブルディスクのアイコンに変わります。



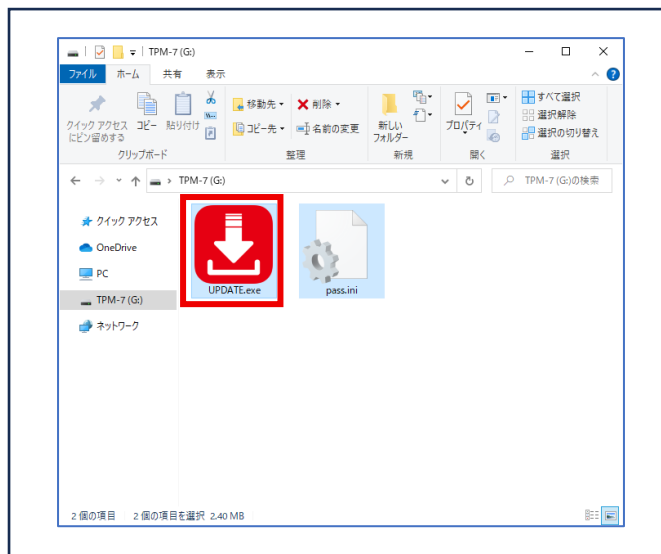
- (12) 先程バックアップ（保存）したファイルをフォーマットが完了した「TPM-7」ドライブへ移動します。対象ファイル選択後、右クリックして「切り取り」または「コピー」して「TPM-7」ドライブにて右クリックして貼り付けします。



- ドラッグ＆ドロップで「TPM-7」ドライブへ移動しても問題ありません。

(13)貼付けが完了後「UPDATE (UPDATE.exe)」をダブルクリックして起動します。

起動後クイックスタートガイドを参考にアップデートを行ってください。



12-3 サーバーからの返答がない

「サーバーからの応答がありません。」とメッセージが表示されてアップデートが行えない。

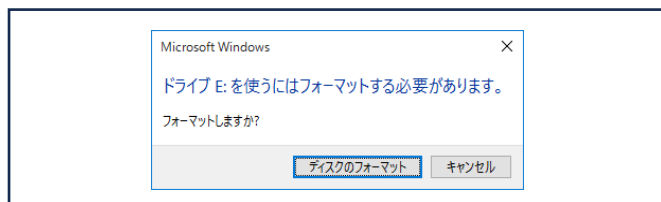
パソコンの設定や セキュリティソフトを確認してください。

パソコンの設定やセキュリティソフトの設定を確認してください。
設定はパソコンの管理者またはセキュリティソフトのメーカーへお問合せください。

また、インターネットが正常に接続されているか確認してください。

12-4 「フォーマットする必要があります」とメッセージが表示される

パソコンに接続しても以下のメッセージが表示され、TPM-7 のドライブが表示されない。

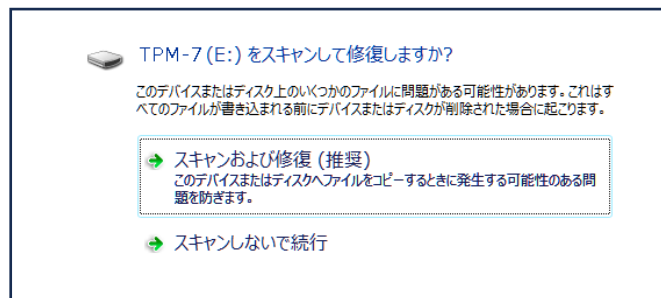


販売店へご連絡ください。

ご使用の本体シリアル番号をご確認の上ご購入された販売店へご連絡ください。

12-5 「スキャンして修復しますか？」とメッセージが表示される

パソコンに接続すると「スキャンして修復しますか？」のメッセージが表示される。



修復をすると問題が解決される場合があります。

修復することにより問題が解決する場合がありますので、「スキャンおよび修復」を実行されることを推奨します。

13. 保証について



保証期間：ユーザー登録から1年間

※ダウンロード期間及び保証期間はメインメニューの「本体 ID」から確認できます。

- TPM-7 はお客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として1年間保証されます。但し、保証期間はインターネットを使用して正しくユーザー登録されている場合のみ有効です。
- 保証対象は本体のみです。ケーブルなどの付属品は保証対象外となります。
- 期間終了後1ヶ月以内にダウンロード期間延長申込をされた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。
- 保証期間内に正常な使用方法にて故障した場合は無償修理いたします。
- 火災、天災による故障の場合は保証適応外となります。
- 乱用、改造、分解あるいは意図された用途以外の目的に使用された場合は保証適応外となります。
- 原則的に本製品は現品修理となります。
- お買い上げになりました機器の本体およびケーブルやアダプタなどを修理のために送付しなければならない場合の往復運賃はお客様のご負担となります。



お問合せ先について

製品の取り扱いに関するお問い合わせ並びに診断不可車両がございましたら自動車検査証など車両情報が分かるものをご用意の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。
なお、故障コードに対する修理方法等は返答致しかねます。車の整備書をご覧頂く様予めご了承ください。

製造元：株式会社ツールプラネット
〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2